

別添資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報(平成 27 年度)

資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報 資料目次

1. 債務返済の状況

平成 27 年度の資金調達の状況	1
債務返済計画と実績の対比（総括表）	3
債務返済計画と実績の対比	5
全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及び本州四国連絡高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成 27 年度（2015 年度）期末の債務残高の計画と実績の対比	23
高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況	24

2. 財務諸表のセグメント情報

高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・損益計算書）	25
高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・貸借対照表）	27
高速道路機構のセグメント情報（損益計算書）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	29
高速道路機構のセグメント情報（貸借対照表）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	30
高速道路会社連結損益計算書一覧	31
高速道路会社連結貸借対照表一覧	32
高速道路機構と高速道路会社の資産と債務の状況	33
高速道路機構と高速道路会社の債務の状況の推移	34
営業中高速道路の路線別資産額	35

3. 高速道路収支関連情報

高速道路の収支率（試算値）	41
路線別営業収支差（高速道路会社情報の総括）	42
金利の路線別配賦（試算値）	47

4. 建設・維持・管理の状況

建設コストの計画と実績	53
管理コストの計画と実績（高速道路会社情報の総括）	56
アウトカム指標の計画と実績（高速道路会社情報の総括）	57

5. 道路資産の保有及び貸付状況

道路資産保有及び貸付状況（総括表）	64
-------------------	----

平成 27 年度の資金調達状況

政府保証債

年限	回号	発行日	発行額	利率
10年	第243回	平成27年4月27日	600億円	0.391%
	第247回	平成27年5月26日	600億円	0.509%
	第249回	平成27年6月16日	600億円	0.484%
	第251回	平成27年7月16日	600億円	0.557%
	第254回	平成27年8月18日	600億円	0.440%
	第256回	平成27年9月15日	600億円	0.425%
	第258回	平成27年10月16日	600億円	0.386%
	第261回	平成27年11月19日	600億円	0.381%
	第263回	平成27年12月15日	600億円	0.379%
	第266回	平成28年1月20日	600億円	0.320%
	第269回	平成28年2月17日	600億円	0.145%
	第271回	平成28年3月15日	510億円	0.020%
		計		7,110億円
20年	第245回	平成27年4月27日	400億円	1.079%
	第246回	平成27年5月21日	300億円	1.178%
	第250回	平成27年6月23日	300億円	1.278%
	第252回	平成27年7月16日	400億円	1.240%
	第255回	平成27年8月18日	300億円	1.220%
	第257回	平成27年9月18日	300億円	1.187%
	第259回	平成27年10月16日	400億円	1.119%
	第262回	平成27年11月26日	300億円	1.109%
	第264回	平成27年12月15日	300億円	1.113%
	第267回	平成28年1月26日	400億円	0.934%
	第270回	平成28年2月18日	300億円	0.837%
	第272回	平成28年3月16日	300億円	0.461%
		計		4,000億円
30年	第244回	平成27年4月21日	300億円	1.420%
	第253回	平成27年7月27日	300億円	1.534%
	第260回	平成27年10月27日	300億円	1.390%
	第268回	平成28年1月26日	300億円	1.280%
		計		1,200億円
40年	第248回	平成27年5月26日	100億円	1.683%
	第265回	平成27年12月22日	100億円	1.580%
		計		200億円
合計			1兆2,510億円	0.714%

民間借入金

年限	回	借入日	借入額	利率
20年	第1回	平成27年6月29日	150億円	1.204%
	第2回	平成27年9月30日	100億円	1.033%
	第3回	平成27年12月25日	100億円	0.927%
合計			350億円	1.076%

財投機関債

年限	回号	発行日	発行額	利率
15年	第154回	平成27年6月23日	100億円	0.948%
	第157回	平成27年8月26日	100億円	0.857%
	計		200億円	0.903%
20年	第150回	平成27年4月22日	150億円	1.133%
	第151回	平成27年5月20日	100億円	1.215%
	第155回	平成27年6月23日	150億円	1.300%
	第156回	平成27年7月27日	150億円	1.257%
	第158回	平成27年8月26日	150億円	1.243%
	第160回	平成27年9月16日	150億円	1.284%
	第163回	平成27年10月23日	150億円	1.197%
	第164回	平成27年11月25日	100億円	1.149%
	第167回	平成27年12月18日	100億円	1.110%
	第168回	平成28年1月26日	100億円	0.973%
計		1,300億円	1.198%	
30年	第152回	平成27年5月20日	150億円	1.626%
	第159回	平成27年8月26日	150億円	1.607%
	第161回	平成27年9月16日	150億円	1.653%
	第165回	平成27年11月25日	150億円	1.626%
	第169回	平成28年2月24日	150億円	1.200%
計		750億円	1.542%	
40年	第153回	平成27年6月10日	300億円	1.974%
	第162回	平成27年10月15日	400億円	1.861%
	第166回	平成27年12月10日	400億円	1.866%
計		1,100億円	1.894%	
合計			3,350億円	1.486%
総計			1兆6,210億円	0.882%

注) 利率の計、合計及び総計は、加重平均で表示しています。
債券の発行価額は全て100円です。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

〔高速道路機構〕

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	一の路線
未償還残高(平成27年度期首)						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	346,709	257,863	51,578	35,574	1,511	182
実績(B)	346,114	257,863	51,089	35,457	1,575	130
差額(B)-(A)	△ 595	0	△ 489	△ 118	64	△ 52
債務残高(平成27年度期首)						
計画(A)	291,668	220,932	40,918	28,583	1,053	182
実績(B)	291,080	220,932	40,429	28,465	1,123	130
差額(B)-(A)	△ 588	0	△ 489	△ 118	70	△ 52
有利子借入金						
計画(A)	288,133	219,628	38,730	28,540	1,053	182
実績(B)	287,545	219,628	38,241	28,423	1,123	130
差額(B)-(A)	△ 588	0	△ 489	△ 118	70	△ 52
社会資本借入金						
計画(A)	2,231	0	2,188	43	0	0
実績(B)	2,231	0	2,188	43	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	1,304	1,304	0	0	0	0
実績(B)	1,304	1,304	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,041	36,931	10,660	6,992	458	0
実績(B)	55,035	36,931	10,660	6,992	452	0
差額(B)-(A)	△ 6	0	0	0	△ 6	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	0	0	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	0	0	0	0	-	-
債務残高(平成27年度期首)						
計画(A)	0	0	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	0	0	0	0	-	-
有利子借入金						
計画(A)	0	0	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	0	0	0	0	-	-
会社からの引受け債務						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	14,938	13,952	270	703	2	10
実績(B)	10,630	9,519	342	763	1	4
差額(B)-(A)	△ 4,308	△ 4,433	72	60	0	△ 6
有利子借入金						
計画(A)	14,850	13,952	270	615	2	10
実績(B)	10,542	9,519	342	675	1	4
差額(B)-(A)	△ 4,308	△ 4,433	72	60	0	△ 6
社会資本借入金						
計画(A)	0	0	0	0	0	0
実績(B)	0	0	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	88	0	0	88	0	0
実績(B)	88	0	0	88	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	687	230	366	91	-	-
実績(B)	40	17	19	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 647	△ 213	△ 347	△ 87	-	-
有利子借入金						
計画(A)	687	230	366	91	-	-
実績(B)	40	17	19	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 647	△ 213	△ 347	△ 87	-	-
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	687	230	366	91	-	-
実績(B)	40	17	19	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 647	△ 213	△ 347	△ 87	-	-
その他の債務						
計画(A)	0	0	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	0	0	0	0	-	-
特定更新等工事に係る債務						
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額						
計画(A)	△ 51	△ 17	△ 27	△ 7	-	-
実績(B)	△ 3	△ 1	△ 1	△ 0	-	-
差額(B)-(A)	48	16	26	6	-	-
債務返済開始前の支払利息相当額						
計画(A)	1	1	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	△ 1	△ 1	0	0	-	-

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	一の路線
収入						
計画(A)	19,077	15,113	2,260	1,598	57	50
実績(B)	21,810	17,971	2,261	1,488	27	63
差額(B)-(A)	2,733	2,858	1	△ 110	△ 30	14
貸付料						
計画(A)	18,532	15,064	1,988	1,374	57	50
実績(B)	21,106	17,653	1,988	1,374	27	63
差額(B)-(A)	2,573	2,589	0	0	△ 30	14
占用料等 [※]						
計画(A)	156	32	10	114	0	0
実績(B)	328	314	10	4	0	0
差額(B)-(A)	172	282	1	△ 110	0	0
出資金等 [※]						
計画(A)	389	17	262	110	0	0
実績(B)	376	4	262	110	0	0
差額(B)-(A)	△ 13	△ 13	0	0	0	0
支出						
計画(A)	4,969	3,387	955	580	42	5
実績(B)	5,232	3,727	915	566	18	6
差額(B)-(A)	263	340	△ 41	△ 13	△ 23	1
管理費等 [※]						
計画(A)	382	189	134	52	4	3
実績(B)	838	655	128	48	2	4
差額(B)-(A)	456	466	△ 5	△ 4	△ 2	2
支払利息						
計画(A)	4,198	3,181	560	417	37	2
実績(B)	4,018	3,067	524	408	16	2
差額(B)-(A)	△ 180	△ 114	△ 35	△ 9	△ 21	△ 1
無利子貸付金						
計画(A)	389	17	262	110	0	0
実績(B)	376	4	262	110	0	0
差額(B)-(A)	△ 13	△ 13	0	0	0	0
収支差						
計画(A)	14,108	11,726	1,305	1,018	15	44
実績(B)	16,578	14,244	1,346	921	9	57
差額(B)-(A)	2,470	2,519	41	△ 97	△ 6	13
未償還残高(平成28年度期首)^{注1)}						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	347,823	260,090	50,805	35,282	1,498	148
実績(B)	340,450	253,138	50,347	35,321	1,568	77
差額(B)-(A)	△ 7,373	△ 6,952	△ 459	39	70	△ 71
債務残高(平成28年度期首)						
計画(A)	292,410	223,159	39,883	28,180	1,040	148
実績(B)	285,044	216,207	39,424	28,219	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 7,366	△ 6,952	△ 459	39	76	△ 71
有利子借入金						
計画(A)	289,375	222,029	38,012	28,146	1,040	148
実績(B)	282,009	215,077	37,554	28,185	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 7,366	△ 6,952	△ 459	39	76	△ 71
社会資本借入金						
計画(A)	1,905	0	1,871	34	0	0
実績(B)	1,905	0	1,871	34	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	1,130	1,130	0	0	0	0
実績(B)	1,130	1,130	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,413	36,931	10,922	7,102	458	0
実績(B)	55,407	36,931	10,922	7,102	452	0
差額(B)-(A)	△ 6	0	0	0	△ 6	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	637	214	339	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 601	△ 199	△ 321	△ 81	-	-
債務残高(平成28年度期首)						
計画(A)	637	214	339	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 601	△ 199	△ 321	△ 81	-	-
有利子借入金						
計画(A)	637	214	339	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 601	△ 199	△ 321	△ 81	-	-
未償還残高の総額						
計画(A)	348,461	260,304	51,144	35,366	1,498	148
実績(B)	340,487	253,153	50,365	35,325	1,568	77
差額(B)-(A)	△ 7,973	△ 7,151	△ 780	△ 42	70	△ 71
債務残高(平成28年度期首)						
計画(A)	293,048	223,373	40,222	28,265	1,040	148
実績(B)	285,081	216,222	39,442	28,223	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 7,967	△ 7,151	△ 780	△ 42	76	△ 71
有利子借入金						
計画(A)	290,013	222,243	38,351	28,231	1,040	148
実績(B)	282,046	215,092	37,572	28,189	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 7,967	△ 7,151	△ 780	△ 42	76	△ 71
社会資本借入金						
計画(A)	1,905	0	1,871	34	0	0
実績(B)	1,905	0	1,871	34	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	1,130	1,130	0	0	0	0
実績(B)	1,130	1,130	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,413	36,931	10,922	7,102	458	0
実績(B)	55,407	36,931	10,922	7,102	452	0
差額(B)-(A)	△ 6	0	0	0	△ 6	0

注1)平成28年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注2)端数処理の関係上、計が含まないことがある。

※「占用料等」は独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法施行令(以下「機構法施行令」という)第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法(以下「機構法」という)第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

〔高速道路会社6社〕

〔単位:億円(消費税込み)〕

	合計	全国路線網						首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	一の路線
		東日本高速道路株 中日本高速道路株 西日本高速道路株 北九州高速道路株	東日本高速道路株	中日本高速道路株	西日本高速道路株	北九州高速道路株	首都高速道路株	阪神高速道路株	阪神高速道路株	中日本高速道路株 西日本高速道路株	
新たな資産形成に係らない部分	収入(料金収入)										
	計画(A)	25,019	20,300	7,108	5,990	6,587	615	2,741	1,828	76	74
	実績(B)	27,802	23,092	8,276	6,674	7,473	670	2,760	1,815	46	90
	差額(B)-(A)	2,783	2,792	1,168	683	886	55	18	△ 12	△ 31	15
	支出(計画管理費)										
	計画(A)	6,487	5,236	1,921	1,446	1,696	173	753	454	19	25
	実績(B)	6,520	5,320	1,904	1,484	1,756	176	723	434	18	25
	差額(B)-(A)	33	84	△ 17	38	60	3	△ 30	△ 20	△ 2	1
	貸付料支払い										
	計画(A)	18,532	15,064	5,186	4,544	4,891	442	1,988	1,374	57	50
実績(B)	21,106	17,653	6,284	5,168	5,711	491	1,988	1,374	27	63	
差額(B)-(A)	2,573	2,589	1,097	624	820	49	0	0	△ 30	14	
新たな資産形成に係る部分	収入										
	計画(A)	21,557	18,697	7,251	5,907	5,321	218	1,347	1,452	2	60
	実績(B)	11,939	9,976	4,216	2,590	3,048	123	1,262	689	1	11
	差額(B)-(A)	△ 9,618	△ 8,721	△ 3,034	△ 3,317	△ 2,274	△ 95	△ 85	△ 763	0	△ 49
	有利子借入金										
	計画(A)	21,168	18,680	7,241	5,903	5,318	218	1,085	1,342	2	60
	実績(B)	11,563	9,972	4,214	2,588	3,046	123	1,000	579	1	11
	差額(B)-(A)	△ 9,606	△ 8,708	△ 3,027	△ 3,314	△ 2,272	△ 95	△ 85	△ 763	0	△ 49
	無利子借入金等										
	計画(A)	389	17	10	4	3	0	262	110	0	0
	実績(B)	376	4	2	1	1	0	262	110	0	0
	差額(B)-(A)	△ 13	△ 13	△ 8	△ 3	△ 2	0	0	0	0	0
	支出										
	計画(A)	21,010	18,150	6,154	6,602	5,155	239	1,347	1,452	2	60
	実績(B)	12,247	10,342	3,241	4,233	2,745	124	1,106	787	1	11
	差額(B)-(A)	△ 8,763	△ 7,808	△ 2,914	△ 2,369	△ 2,410	△ 115	△ 241	△ 665	0	△ 49
	新設・改築費等										
	計画(A)	14,300	12,501	4,282	4,828	3,387	5	761	1,037	0	0
	実績(B)	8,354	7,290	2,213	3,127	1,947	2	648	416	0	0
	差額(B)-(A)	△ 5,946	△ 5,211	△ 2,069	△ 1,700	△ 1,439	△ 3	△ 113	△ 621	0	0
	修繕費等										
	計画(A)	4,007	3,355	1,175	1,068	1,001	111	270	319	2	60
	実績(B)	3,638	2,952	996	1,081	756	119	316	358	1	11
	差額(B)-(A)	△ 369	△ 404	△ 179	13	△ 245	8	46	39	0	△ 49
	更新費等										
	計画(A)	720	310	109	79	121	2	315	95	0	0
	実績(B)	216	62	14	16	31	1	142	12	0	0
	差額(B)-(A)	△ 504	△ 248	△ 94	△ 63	△ 90	△ 1	△ 173	△ 83	0	0
	災害復旧費										
	計画(A)	1,983	1,983	589	627	646	121	0	0	0	0
実績(B)	39	38	18	9	11	1	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	△ 1,944	△ 1,945	△ 571	△ 619	△ 635	△ 120	0	0	0	0	
債務残高(平成27年度期首)											
計画(A)	22,696	18,130	4,069	9,677	4,340	44	3,299	1,266	0	1	
実績(B)	22,532	18,130	4,069	9,677	4,340	44	3,151	1,241	0	9	
差額(B)-(A)	△ 164	0	0	0	0	0	△ 148	△ 25	0	8	
機構への引き渡し債務											
計画(A)	15,625	14,182	3,167	8,659	2,100	256	636	794	2	10	
実績(B)	10,669	9,536	2,102	6,367	944	123	361	767	1	4	
差額(B)-(A)	△ 4,955	△ 4,647	△ 1,065	△ 2,292	△ 1,157	△ 133	△ 275	△ 27	0	△ 6	
有利子借入金											
計画(A)	15,537	14,182	3,167	8,659	2,100	256	636	707	2	10	
実績(B)	10,582	9,536	2,102	6,367	944	123	361	679	1	4	
差額(B)-(A)	△ 4,955	△ 4,647	△ 1,065	△ 2,292	△ 1,157	△ 133	△ 275	△ 27	0	△ 6	
特定更新等工事に係る債務											
計画(A)	687	230	102	11	115	2	366	91	0	0	
実績(B)	40	17	5	10	1	1	19	4	0	0	
差額(B)-(A)	△ 647	△ 213	△ 97	△ 2	△ 114	△ 1	△ 347	△ 87	0	0	
その他の債務											
計画(A)	14,850	13,952	3,065	8,647	1,986	254	270	615	2	10	
実績(B)	10,542	9,519	2,097	6,358	943	122	342	675	1	4	
差額(B)-(A)	△ 4,308	△ 4,433	△ 968	△ 2,290	△ 1,043	△ 133	72	60	0	△ 6	
社会資本借入金											
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無利子借入金											
計画(A)	88	0	0	0	0	0	0	88	0	0	
実績(B)	88	0	0	0	0	0	0	88	0	0	
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)											
計画(A)	28,629	22,645	8,153	6,926	7,561	6	4,009	1,923	0	51	
実績(B)	23,801	18,571	6,183	5,900	6,444	44	4,052	1,162	0	16	
差額(B)-(A)	△ 4,827	△ 4,074	△ 1,970	△ 1,026	△ 1,117	38	43	△ 761	0	△ 35	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。
注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【全国路線網】

【高速道路機構】

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	25,786,318	25,786,318	0	
債務残高(平成27年度期首)	22,093,228	22,093,228	0	
有利子借入金	21,962,817	21,962,817	0	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	130,412	130,412	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	
特定更新等工事に係る債務	0	0	0	
債務残高(平成27年度期首)	0	0	0	
有利子借入金	0	0	0	
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	1,395,248	951,909	△ 443,339	
有利子借入金	1,395,248	951,909	△ 443,339	・新設・改築事業において、新名神高速道路(四日市JCT~新四日市JCT)の開通時期を見直したことや、本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務	22,971	1,653	△ 21,318	
有利子借入金	22,971	1,653	△ 21,318	
特定更新等工事に係る債務	22,971	1,653	△ 21,318	・工程を見直したこと等による減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 1,703	△ 122	1,581	
債務返済開始前の支払利息相当額	143	0	△ 143	
収入				
収入	1,511,297	1,797,119	285,822	
貸付料	1,506,398	1,765,320	258,922	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増 ・占用料等において、高速道路通行者負担軽減補助金を受け入れたことによる増 ・出資金等において、スマートICの工程を見直したことによる補助金の減
占用料等 [※]	3,197	31,352	28,155	
出資金等 [※]	1,702	447	△ 1,255	
支出				
支出	338,721	372,685	33,963	
管理費等 [※]	18,886	65,500	46,614	・管理費等において、貸付料の増及び引受債務の減に伴う納付消費税の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減 ・無利子貸付金において、スマートICの工程を見直したことによる減
支払利息	318,134	306,738	△ 11,396	
無利子貸付金	1,702	447	△ 1,255	
収支差				
収支差	1,172,575	1,424,434	251,858	
未償還残高(平成28年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	26,008,991	25,313,794	△ 695,197	
債務残高(平成28年度期首)	22,315,901	21,620,704	△ 695,197	
有利子借入金	22,202,870	21,507,673	△ 695,197	・引受債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	113,031	113,031	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	
特定更新等工事に係る債務	21,411	1,531	△ 19,880	
債務残高(平成28年度期首)	21,411	1,531	△ 19,880	
有利子借入金	21,411	1,531	△ 19,880	・引受債務の減等
未償還残高の総額				
未償還残高の総額	26,030,402	25,315,324	△ 715,078	
債務残高(平成28年度期首)	22,337,312	21,622,234	△ 715,078	
有利子借入金	22,224,281	21,509,203	△ 715,078	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	113,031	113,031	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、

「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【全国路線網】

(高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等)[東日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 係た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	710,760	827,595	116,835	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	192,116	190,410	△ 1,706	
	貸付料支払い	518,644	628,371	109,727	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	725,081	421,637	△ 303,444	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	724,107	421,423	△ 302,684	
	無利子借入金等	974	214	△ 760	
	支出	615,427	324,054	△ 291,373	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	新設・改築費等	428,184	221,272	△ 206,912	
	修繕費等	117,453	99,553	△ 17,900	
	更新費等	10,882	1,434	△ 9,448	
	災害復旧費	58,908	1,795	△ 57,113	
	債務残高(平成27年度期首)	406,906	406,906	0	・特定更新等工事及び修繕事業において、工程を見直したこと等による減 ・新設・改築事業において、本線供用開始後の残事業を翌年度に繰り越したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	機構への引き渡し債務	316,717	210,223	△ 106,494	
	有利子借入金	316,717	210,223	△ 106,494	
	特定更新等工事に係る債務	10,193	496	△ 9,697	
	その他の債務	306,524	209,727	△ 96,797	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)	815,270	618,320	△ 196,950		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等)[中日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 係た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	599,015	667,358	68,343	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	144,588	148,404	3,816	
	貸付料支払い	454,427	516,780	62,353	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	590,691	258,956	△ 331,735	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	590,277	258,836	△ 331,441	
	無利子借入金等	414	119	△ 295	
	支出	660,168	423,301	△ 236,867	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	新設・改築費等	482,757	312,749	△ 170,008	
	修繕費等	106,824	108,098	1,274	
	更新費等	7,863	1,598	△ 6,265	
	災害復旧費	62,724	856	△ 61,868	
	債務残高(平成27年度期首)	967,743	967,743	0	・特定更新等工事において、工程を見直したこと等による減 ・新設・改築事業において、新名神高速道路(四日市JCT~新四日市JCT)の開通時期を見直したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	機構への引き渡し債務	865,875	636,707	△ 229,168	
	有利子借入金	865,875	636,708	△ 229,167	
	特定更新等工事に係る債務	1,146	956	△ 190	
	その他の債務	864,729	635,752	△ 228,977	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)	692,559	589,991	△ 102,568		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道西宮線等)(西日本高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 係た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	658,713	747,267	88,554	
	支出(計画管理費)	169,596	175,595	5,999	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	489,117	571,084	81,967	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	532,115	304,757	△ 227,358	
	有利子借入金	531,801	304,643	△ 227,158	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	314	114	△ 200	
	支出	515,454	274,461	△ 240,993	
	新設・改築費等	338,652	194,720	△ 143,932	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	修繕費等	100,121	75,584	△ 24,537	
	更新費等	12,063	3,059	△ 9,004	
	災害復旧費	64,618	1,099	△ 63,519	
	債務残高(平成27年度期首)	434,007	434,007	0	
	機構への引き渡し債務	210,016	94,355	△ 115,661	
	有利子借入金	210,016	94,355	△ 115,661	
	特定更新等工事に係る債務	11,458	105	△ 11,353	・特定更新等工事及び修繕事業において、工程を見直したこと等による減 ・新設・改築事業において、事業完了に伴う工事数量等の確定による減
	その他の債務	198,558	94,250	△ 104,308	
	社会資本借入金	0	0	0	・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
無利子借入金	0	0	0		
債務残高(平成28年度期首)	756,105	644,409	△ 111,697		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート)等)(本州四国連絡高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 係た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	61,476	66,967	5,491	
	支出(計画管理費)	17,266	17,578	312	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	44,210	49,086	4,876	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	21,827	12,281	△ 9,546	
	有利子借入金	21,827	12,281	△ 9,546	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	23,935	12,388	△ 11,547	
	新設・改築費等	524	240	△ 284	・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	修繕費等	11,143	11,934	791	
	更新費等	174	115	△ 59	
	災害復旧費	12,094	99	△ 11,995	
	債務残高(平成27年度期首)	4,371	4,371	0	
	機構への引き渡し債務	25,611	12,277	△ 13,334	
	有利子借入金	25,611	12,277	△ 13,334	
	特定更新等工事に係る債務	174	96	△ 78	・災害復旧費において、計画上、全額を平成27年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	その他の債務	25,437	12,181	△ 13,256	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		
債務残高(平成28年度期首)	587	4,375	3,788		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

〔東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱、本州四国連絡高速道路㈱〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)
に新 係た らな な資 産 形 成 部 分	収入(料金収入)	2,029,964	2,309,186	279,222
	支出(計画管理費)	523,566	531,987	8,421
	貸付料支払い	1,506,398	1,765,320	258,922
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	1,869,714	997,631	△ 872,083
	有利子借入金	1,868,012	997,184	△ 870,828
	無利子借入金等	1,702	447	△ 1,255
	支出	1,814,984	1,034,203	△ 780,781
	新設・改築費等	1,250,117	728,981	△ 521,136
	修繕費等	335,541	295,168	△ 40,373
	更新費等	30,982	6,205	△ 24,777
	災害復旧費	198,344	3,848	△ 194,496
	債務残高(平成27年度期首)	1,813,027	1,813,026	△ 0
	機構への引き渡し債務	1,418,219	953,562	△ 464,657
	有利子借入金	1,418,219	953,562	△ 464,657
	特定更新等工事に係る債務	22,971	1,653	△ 21,318
	その他の債務	1,395,248	951,909	△ 443,339
	社会資本借入金	0	0	0
	無利子借入金	0	0	0
債務残高(平成28年度期首)	2,264,522	1,857,095	△ 407,427	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【首都高速道路に係る地域路線網】

【高速道路機構】

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	5,157,792	5,108,884	△ 48,908	
債務残高(平成27年度期首)	4,091,762	4,042,854	△ 48,908	
有利子借入金	3,872,959	3,824,051	△ 48,908	
社会資本借入金	218,803	218,803	0	・前年度までの引受け債務の減等
出資金	1,066,030	1,066,030	0	
特定更新等工事に係る債務	0	0	0	
債務残高(平成27年度期首)	0	0	0	
有利子借入金	0	0	0	
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	27,005	34,201	7,196	
有利子借入金	27,005	34,201	7,196	
社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、第三京浜(上り)港北IC出口の部分引渡に伴う増
無利子借入金	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務	36,595	1,924	△ 34,671	
有利子借入金	36,595	1,924	△ 34,671	
特定更新等工事に係る債務	36,595	1,924	△ 34,671	・工程を見直したこと等による減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 2,711	△ 143	2,568	
債務返済開始前の支払利息相当額	0	0	0	
収入				
貸付料	198,838	198,838	0	
占用料等 [※]	966	1,047	81	
出資金等 [※]	26,200	26,200	0	
支出				
管理費等 [※]	13,378	12,831	△ 547	
支払利息	55,955	52,444	△ 3,511	・管理費等において、引受け債務の増に伴う納付消費税の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
無利子貸付金	26,200	26,200	0	
収支差	130,471	134,609	4,138	
未償還残高(平成28年度期首)^{注2)}				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	5,080,526	5,034,676	△ 45,851	
債務残高(平成28年度期首)	3,988,296	3,942,446	△ 45,851	
有利子借入金	3,801,229	3,755,378	△ 45,851	
社会資本借入金	187,067	187,067	0	・前年度までの引受け債務の減等
出資金	1,092,230	1,092,230	0	
特定更新等工事に係る債務	33,884	1,782	△ 32,102	
債務残高(平成28年度期首)	33,884	1,782	△ 32,102	
有利子借入金	33,884	1,782	△ 32,102	・引受債務の減等
未償還残高の総額				
債務残高(平成28年度期首)	4,022,180	3,944,227	△ 77,953	
有利子借入金	3,835,113	3,757,160	△ 77,953	
社会資本借入金	187,067	187,067	0	
出資金	1,092,230	1,092,230	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成28年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【首都高速道路に係る地域路線網】
 【首都高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 たな 資 産 形 成	収入(料金収入)	274,146	275,977	1,831	
	支出(計画管理費)	75,308	72,316	△ 2,992	・クレジットカード手数料の減等による支出の減
	貸付料支払い	198,838	198,838	0	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	134,667	126,215	△ 8,452	
	有利子借入金	108,467	100,015	△ 8,452	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	26,200	26,200	0	
	支出	134,667	110,571	△ 24,096	
	新設・改築費等	76,136	64,796	△ 11,340	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等及び更新費等の減
	修繕費等	27,005	31,583	4,578	
	更新費等	31,526	14,192	△ 17,334	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成27年度期首)	329,875	315,121	△ 14,754	
	機構への引き渡し債務	63,600	36,125	△ 27,475	
	有利子借入金	63,600	36,125	△ 27,475	
	特定更新等工事に係る債務	36,595	1,924	△ 34,671	・特定更新等工事において、工程を見直したこと等による減 ・新設・改築事業において、第三京浜(上り)港北IC出口の部分引渡に伴う増
	その他の債務	27,005	34,201	7,196	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)	400,942	405,212	4,270		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

【高速道路機構】

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	3,557,433	3,545,675	△ 11,758	
債務残高(平成27年度期首)	2,858,280	2,846,522	△ 11,758	
有利子借入金	2,854,014	2,842,256	△ 11,758	
社会資本借入金	4,265	4,265	0	・前年度までの引受け債務の減等
出資金	699,153	699,153	0	
特定更新等工事に係る債務	0	0	0	
債務残高(平成27年度期首)	0	0	0	
有利子借入金	0	0	0	
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	70,308	76,288	5,980	
有利子借入金	61,549	67,529	5,980	
社会資本借入金	0	0	0	・修繕事業において、過年度に工程を見直した工事を実施したこと等による増
無利子借入金	8,759	8,759	0	
特定更新等工事に係る債務	9,130	413	△ 8,717	
有利子借入金	9,130	413	△ 8,717	
特定更新等工事に係る債務	9,130	413	△ 8,717	・工程を見直したこと等による減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 676	△ 31	645	
債務返済開始前の支払利息相当額	0	0	0	
収入				
貸付料	137,374	137,374	0	
占用料等 [※]	11,404	387	△ 11,017	・占用料において、大阪市による淀川左岸線の用地買戻し収入を、計画上、平成27年度に一括計上していることによる減
出資金等 [※]	10,998	10,998	0	
支出				
管理費等 [※]	5,230	4,839	△ 391	
支払利息	41,734	40,807	△ 927	・管理費等において、引受け債務の増に伴う納付消費税の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
無利子貸付金	10,998	10,998	0	
収支差	101,814	92,116	△ 9,698	
未償還残高(平成28年度期首)^{注2)}				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	3,528,166	3,532,086	3,920	
債務残高(平成28年度期首)	2,818,015	2,821,935	3,920	
有利子借入金	2,814,625	2,818,546	3,920	
社会資本借入金	3,389	3,389	0	・引受け債務の増等
出資金	710,151	710,151	0	
特定更新等工事に係る債務	8,454	383	△ 8,071	
債務残高(平成28年度期首)	8,454	383	△ 8,071	
有利子借入金	8,454	383	△ 8,071	・引受債務の減等
未償還残高の総額				
債務残高(平成28年度期首)	2,826,469	2,822,317	△ 4,151	
有利子借入金	2,823,079	2,818,928	△ 4,151	
社会資本借入金	3,389	3,389	0	
無利子借入金	710,151	710,151	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成28年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】
 【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 換た らな な資 産形 成	収入(料金収入)	182,758	181,526	△ 1,232	
	支出(計画管理費)	45,384	43,386	△ 1,998	・クレジットカード手数料の減等による支出の減
	貸付料支払い	137,374	137,374	0	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	145,157	68,857	△ 76,299	
	有利子借入金	134,159	57,859	△ 76,299	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	10,998	10,998	0	
	支出	145,157	78,654	△ 66,503	
	新設・改築費等	103,741	41,604	△ 62,137	
	修繕費等	31,943	35,842	3,899	・大和川線の工程を見直したこと等による新設・改築費等の減
	更新費等	9,472	1,161	△ 8,311	・過年度に工程を見直した工事を実施したこと等による修繕費等の増
	災害復旧費	0	47	47	・工程を見直したこと等による更新費等の減
	債務残高(平成27年度期首)	126,570	124,061	△ 2,509	
	機構への引き渡し債務	79,438	76,701	△ 2,736	
	有利子借入金	70,679	67,942	△ 2,736	
	特定更新等工事に係る債務	9,130	413	△ 8,717	
	その他の債務	61,549	67,529	5,980	・特定更新等工事において、工程を見直したこと等による減
	社会資本借入金	0	0	0	・修繕事業において、過年度に工程を見直した工事を実施したこと等による増
	無利子借入金	8,759	8,759	0	
債務残高(平成28年度期首)	192,289	116,217	△ 76,072		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)	151,131	157,513	6,382	
債務残高(平成27年度期首)	105,304	112,318	7,014	
有利子借入金	105,304	112,318	7,014	・前年度までの貸付料の減等による債務残高の増 ・コスト削減に伴う事業の見直しによる出資金の減
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	
会社からの引受け債務	170	144	△ 26	
有利子借入金	170	144	△ 26	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	5,678	2,704	△ 2,974	
貸付料	5,678	2,703	△ 2,975	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	0	1	1	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	4,163	1,823	△ 2,341	
管理費等 [※]	417	192	△ 225	・管理費において、貸付料の減に伴う納付消費税の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	3,747	1,631	△ 2,116	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,514	881	△ 633	
未償還残高(平成28年度期首) ^{注2)}	149,787	156,776	6,989	
債務残高(平成28年度期首)	103,960	111,581	7,621	
有利子借入金	103,960	111,581	7,621	・貸付料の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成28年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】
【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保た らな い資 産形 成分 隊	収入(料金収入)	7,626	4,575	△ 3,051	・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	1,949	1,794	△ 155	
	貸付料支払い	5,678	2,703	△ 2,975	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	170	148	△ 22	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	170	148	△ 22	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	170	148	△ 22	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	170	148	△ 22	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成27年度期首)	0	0	0	
	機構への引き渡し債務	170	144	△ 26	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	有利子借入金	170	144	△ 26	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	0	4	4	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道16号(八王子バイパス)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)	539	399	△ 139	
債務残高(平成27年度期首)	539	399	△ 139	
有利子借入金	539	399	△ 139	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	32	117	85	
有利子借入金	32	117	85	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による増
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	619	684	65	
貸付料	618	684	66	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等※	1	0	△ 1	
出資金等※	0	0	0	
支出	48	45	△ 4	
管理費等※	44	43	△ 1	・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	4	1	△ 3	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	571	640	69	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道16号(八王子バイパス)】
【中日本高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由	
に新 保た らな な資 産形 成	収入(料金収入)	1,284	1,363	79	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増	
	支出(計画管理費)	666	651	△15		
	貸付料支払い	618	684	66		
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	32	116	84	・資産形成に係る支出増加に伴う有利子借入額の増	
	有利子借入金	32	116	84		
	無利子借入金等	0	0	0		
	支出	32	116	84	・対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による増	
	新設・改築費等	0	0	0		
	修繕費等	32	116	84		
	災害復旧費	0	0	0		
		債務残高(平成27年度期首)	0	1	1	
		機構への引き渡し債務	32	117	85	
		有利子借入金	32	117	85	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による増
		社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0		
	債務残高(平成28年度期首)	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

〔高速道路機構〕

〔単位:百万円(消費税込み)〕

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)	2,017	1,216	△ 801	
債務残高(平成27年度期首)	2,017	1,216	△ 801	
有利子借入金	2,017	1,216	△ 801	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	141	102	△ 39	
有利子借入金	141	102	△ 39	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	312	405	93	
貸付料	312	405	93	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等※	0	0	0	
出資金等※	0	0	0	
支出	40	37	△ 3	
管理費等※	12	23	10	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	27	15	△ 13	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	272	367	95	
未償還残高(平成28年度期首) ^{注2)}	1,886	951	△ 934	
債務残高(平成28年度期首)	1,886	951	△ 934	
有利子借入金	1,886	951	△ 934	・引受債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】
 【中日本高速道路㈱】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な な 資 産 形 成 部 分	収入(料金収入)	633	751	118	・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	321	534	213	
	貸付料支払い	312	405	93	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	141	117	△ 24	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	141	117	△ 24	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	141	117	△ 24	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	141	117	△ 24	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成27年度期首)	0	6	6	
	機構への引き渡し債務	141	102	△ 39	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
	有利子借入金	141	102	△ 39	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		
債務残高(平成28年度期首)	0	21	21		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道31号(広島県道路)】

【高速道路機構】

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)	13,336	10,457	△ 2,879	
債務残高(平成27年度期首)	13,336	10,457	△ 2,879	
有利子借入金	13,336	10,457	△ 2,879	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	753	167	△ 586	
有利子借入金	753	167	△ 586	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	2,912	3,593	682	
貸付料	2,907	3,591	684	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等※	5	3	△ 2	
出資金等※	0	0	0	
支出	339	384	46	
管理費等※	163	258	95	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	176	127	△ 49	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	2,573	3,209	636	
未償還残高(平成28年度期首)	11,516	7,415	△ 4,101	
債務残高(平成28年度期首)	11,516	7,415	△ 4,101	
有利子借入金	11,516	7,415	△ 4,101	・引受債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道31号(広島呉道路)】
 【西日本高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 係 ら な な 資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	3,715	4,473	758	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	808	868	60	
	貸付料支払い	2,907	3,591	684	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	753	675	△ 78	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	753	675	△ 78	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	753	675	△ 78	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	753	675	△ 78	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成27年度期首)	0	886	886	
	機構への引き渡し債務	753	167	△ 586	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
	有利子借入金	753	167	△ 586	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)	0	1,394	1,394		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成27年度期首)	2,330	1,691	△ 638	
債務残高(平成27年度期首)	2,330	1,691	△ 638	
有利子借入金	2,330	1,691	△ 638	
社会資本借入金	0	0	0	・前年度までの引受け債務の減等
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	112	29	△ 83	
有利子借入金	112	29	△ 83	
社会資本借入金	0	0	0	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,117	1,665	548	
貸付料	1,117	1,665	548	
占用料等※	0	0	0	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
出資金等※	0	0	0	
支出	111	136	26	
管理費等※	76	123	47	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増
支払利息	35	14	△ 21	・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,006	1,528	522	
未償還残高(平成28年度期首)	1,435	192	△ 1,244	
債務残高(平成28年度期首)	1,435	192	△ 1,244	
有利子借入金	1,435	192	△ 1,244	
社会資本借入金	0	0	0	・引受債務の減、貸付料の増等
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)
〔西日本高速道路株〕】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 係 ら な 資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	1,790	2,373	583	・点検結果に基づく補修時期の見直し等による支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	673	483	△ 190	
	貸付料支払い	1,117	1,665	548	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	5,113	182	△ 4,931	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	5,113	182	△ 4,931	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	5,113	182	△ 4,931	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	5,113	182	△ 4,931	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成27年度期首)	109	49	△ 60	
	機構への引き渡し債務	112	29	△ 83	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
	有利子借入金	112	29	△ 83	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)	5,110	201	△ 4,909		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及び本州四国連絡高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成28年度(2016年度)期首の債務残高の計画と実績の対比

[単位:兆円]

	計画	実績	差額	差異の理由
東日本高速道路(株)	8.3	8.1	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
中日本高速道路(株)	6.2	5.9	0.3	債務引受額の減 貸付料の増 等
西日本高速道路(株)	7.0	6.8	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
本州四国連絡 高速道路(株)	0.8	0.8	0.0	債務引受額の減 貸付料の増 等
合計	22.3	21.6	0.7	債務引受額の減 貸付料の増 等

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況

債務残高及び債務返済状況^{注1)}

[単位:兆円]

		計 画 (A)	実 績 (B)	差 額 (B) - (A)		
会 社	H27期首	2.1	2.1	△ 0.0		
	新たな資産形成	2.1	1.2	△ 1.0		
	引き渡し債務	特定更新等工事に係る債務	0.1	0.0	△ 0.1	
		その他の債務	1.5	1.1	△ 0.4	
	債務残高 ^{注2)}	2.7	2.2	△ 0.5		
機 構	を特定 除く更新 その他工 事の債 務に係 る債務	H27期首	29.2	29.1	△ 0.1	
		引受け債務	1.5	1.1	△ 0.4	
		債務返済	基礎収支 (貸付料-支払利息)	1.4	1.7	0.3
			その他収支	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0
		債務返済 計	1.4	1.7	0.2	
	債務残高	29.2	28.5	△ 0.7		
	る特定 債務 更新等 工事に 係	H27期首	0.0	0.0	0.0	
		引受け債務	0.1	0.0	△ 0.1	
		債務返済開始前の引受け債務に係る 消費税相当額	△ 0.0	△ 0.0	0.0	
		債務返済開始前の支払利息相当額	0.0	0.0	△ 0.0	
	債務残高	0.1	0.0	△ 0.1		
	機構計	債務残高	29.3	28.5	△ 0.8	
	合 計	債務残高	32.0	30.7	△ 1.3	

出資金

H27期首	5.5	5.5	△ 0.0
H27増加分	0.0	0.0	0.0
出資金累計額	5.5	5.5	△ 0.0

未償還残高

債務残高(会社+機構)+出資金	37.5	36.2	△ 1.3
-----------------	------	------	-------

注1)債務返済計画ベースの数値である。

注2)機構が出資金を財源として会社に貸し付けた無利子借入金分は機構の出資金と重複するため除いている。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)

[単位: 億円]

	全国路線網	地域路線網			一の路線	損益計算書 計上額
		首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)		
経常費用						
道路資産貸付業務費	7,569.8	1,400.7	865.3	26.2	18.6	9,880.7
貸付原価	7,569.8	1,400.7	865.3	26.2	18.6	9,880.7
貸付道路資産減価償却費	7,106.4	1,358.3	801.0	26.2	17.5	9,309.6
固定資産除却損	400.9	37.5	62.4	0.0	1.0	502.0
その他	62.3	4.8	1.7	0.0	0.0	69.0
経営努力助成業務費	3.4	—	—	—	—	3.4
経営努力助成金	3.4	—	—	—	—	3.4
一般管理費	12.6	0.5	1.2	0.0	0.1	14.5
人件費	7.9	0.8	0.6	0.0	0.0	9.5
経費	4.6	△ 0.3	0.6	0.0	0.1	5.0
財務費用	3,030.7	561.7	407.9	16.3	1.3	4,018.1
支払利息	2,987.7	552.2	399.0	15.9	1.3	3,956.3
債券利息	2,866.2	521.3	377.8	15.1	1.3	3,781.8
債券発行差額償却費	62.8	13.2	9.3	0.3	0.0	85.8
支払利息	58.6	17.6	11.8	0.4	0.0	88.5
債券発行費	39.6	8.7	8.3	0.3	0.0	57.0
その他の財務費用	3.4	0.6	0.6	0.0	0.0	4.8
道路資産取得関連費用	365.3	10.9	18.7	0.1	0.1	395.2
道路建設人件費償却費	116.9	7.2	12.6	0.0	0.0	136.9
道路建設経費償却費	131.1	3.7	5.9	0.0	0.0	140.9
道路建設金利償却費	117.2	—	0.0	0.0	0.0	117.3
雑損	2.9	0.0	0.1	0.0	0.0	3.0
経常費用 合計	10,985.0	1,973.9	1,293.3	42.6	20.3	14,315.3
経常収益						
道路資産貸付料収入	16,345.5	1,841.0	1,271.9	25.0	58.7	19,542.3
占用料収入	9.0	9.7	3.7	0.0	0.0	22.6
連結料収入	22.3	0.0	0.0	—	—	22.4
その他収入	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4
補助金等収益	256.0	—	—	—	—	256.0
寄附金収益	13.3	—	—	—	—	13.3
資産見返負債戻入	66.8	3.3	0.7	—	0.0	71.0
資産見返補助金等戻入	38.4	0.2	—	—	—	38.6
資産見返寄附金戻入	28.4	3.1	0.7	—	0.0	32.4
財務収益	1.8	0.4	0.3	0.0	0.0	2.7
受取利息	1.8	0.4	0.3	0.0	0.0	2.7
雑益	12.9	1.3	0.9	0.0	0.0	15.3
経常収益 合計	16,728.0	1,856.5	1,277.9	25.0	58.8	19,946.3
経常利益又は経常損失(△)	5,743.0	△ 117.4	△ 15.4	△ 17.6	38.5	5,631.0
臨時損失						
固定資産除却損	12.7	0.0	0.0	0.0	227.7	240.5
固定資産売却損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産売却損	12.7	—	—	—	—	12.7
固定資産譲渡損	—	—	—	—	227.7	227.7
臨時利益						
高速道路利便増進事業引当金戻入	2.3	169.1	108.3	14.2	—	294.1
固定資産売却益	—	169.1	108.3	14.2	—	291.7
固定資産売却益	2.1	—	—	—	—	2.1
その他	0.1	—	—	—	—	0.1
当期純利益又は当期純損失(△)	5,732.5	51.7	92.9	△ 3.3	△ 189.2	5,684.6
当期総利益又は当期総損失(△)	5,732.5	51.7	92.9	△ 3.3	△ 189.2	5,684.6

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)(一の路線)

[単位:億円]

	一の路線			
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道 路))	一般国道31号 (広島呉道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)
経常費用				
道路資産貸付業務費	2.2	1.5	10.2	4.5
貸付原価	2.2	1.5	10.2	4.5
貸付道路資産減価償却費	1.3	1.5	10.1	4.5
固定資産除却損	0.9	0.0	0.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
経営努力助成業務費	—	—	—	—
一般管理費	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0.0	0.0	0.0	0.0
経費	0.0	0.0	0.0	0.0
財務費用	0.0	0.1	1.1	0.1
支払利息	0.0	0.1	1.1	0.1
債券利息	0.0	0.1	1.0	0.1
債券発行差額償却費	0.0	0.0	0.0	0.0
支払利息	0.0	0.0	0.0	0.0
債券発行費	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の財務費用	0.0	0.0	0.0	0.0
道路資産取得関連費用	0.0	0.0	0.1	0.0
道路建設人件費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0
道路建設経費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0
道路建設金利償却費	0.0	0.0	0.0	0.0
雑損	0.0	0.0	0.0	0.0
経常費用合計	2.3	1.6	11.6	4.7
経常収益				
道路資産貸付料収入	6.3	3.7	33.2	15.4
占用料収入	0.0	0.0	0.0	0.0
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0
資産見返負債戻入	—	0.0	0.0	0.0
資産見返寄附金戻入	—	0.0	0.0	0.0
財務収益	0.0	0.0	0.0	0.0
受取利息	0.0	0.0	0.0	0.0
雑益	0.0	0.0	0.0	0.0
経常収益合計	6.3	3.7	33.3	15.4
経常利益又は経常損失(△)	4.0	2.1	21.7	10.7
臨時損失	227.7	0.0	0.0	0.0
固定資産除却損	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産譲渡損	227.7	—	—	—
臨時利益	—	—	—	—
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 223.7	2.0	21.7	10.6
当期総利益又は当期総損失(△)	△ 223.7	2.0	21.7	10.6

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)

[単位:億円]

	全国路線網	地域路線網			一の路線	貸借対照表計上額
		首都高速道路	阪神高速道路(阪神圏)	阪神高速道路(京都圏)		
資産の部						
I 流動資産						
現金預金	518.8	58.4	40.3	0.7	14.3	632.7
道路資産貸付料等未収入金	3,843.3	165.6	114.4	4.7	18.4	4,146.7
未収入金	17.1	1.0	0.6	0.0	0.0	18.9
短期貸付金	3.9	1,105.3	679.0	—	—	1,788.3
貯蔵品	31.8	0.0	0.0	0.1	0.0	31.9
前払金	1.4	0.1	0.1	0.0	0.0	1.7
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	4,416.5	1,330.6	834.7	5.6	32.8	6,620.4
II 固定資産						
1 有形固定資産						
建物	3,630.7	743.0	210.0	31.5	9.7	4,625.1
減価償却累計額	△ 1,142.2	△ 189.9	△ 61.9	△ 7.0	△ 3.6	△ 1,405.0
構築物	292,713.5	53,301.5	29,823.8	1,230.6	557.9	377,627.4
減価償却累計額	△ 64,658.8	△ 11,892.0	△ 7,595.9	△ 175.6	△ 164.9	△ 84,487.4
機械装置	11,071.4	2,283.8	883.8	46.7	43.5	14,329.4
減価償却累計額	△ 5,436.5	△ 1,115.2	△ 405.4	△ 25.5	△ 31.9	△ 7,014.6
工具器具備品	40.8	0.0	0.0	0.0	0.0	40.9
減価償却累計額	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 25.0
土地	72,220.5	10,589.5	6,627.9	133.5	257.8	89,829.5
建設仮勘定	2,644.1	56.8	716.4	—	—	3,417.4
有形固定資産合計	311,058.6	53,777.6	30,198.7	1,234.2	668.5	396,937.8
2 無形固定資産						
借地権	62.6	2,203.3	296.5	28.2	0.0	2,590.7
ソフトウェア	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
その他	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3
無形固定資産合計	78.2	2,203.3	296.5	28.2	0.0	2,606.3
3 投資その他の資産						
長期貸付金	15.9	231.6	—	—	—	247.5
敷金保証金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
投資その他の資産合計	16.1	231.6	0.0	0.0	0.0	247.7
固定資産合計	311,152.9	56,212.6	30,495.3	1,262.5	668.5	399,791.9
資産合計	315,569.4	57,543.2	31,330.0	1,268.1	701.4	406,412.4
負債の部						
I 流動負債						
預り寄附金	1.1	—	—	—	—	1.1
1年以内償還予定機構債	20,134.5	3,383.0	3,099.4	122.6	7.8	26,747.6
債券発行差額	△ 3.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0	0.0	△ 4.5
1年以内返済予定長期借入金	661.2	736.3	337.3	13.3	0.1	1,748.4
未払金	614.7	△ 26.8	232.4	△ 3.7	21.7	838.4
未払費用	570.2	98.9	78.0	3.1	0.2	750.6
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
賞与引当金	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
流動負債合計	21,979.0	4,191.0	3,746.7	135.4	30.0	30,082.4
II 固定負債						
資産見返負債	1,021.1	140.2	43.2	—	1.2	1,205.9
資産見返補助金等	475.5	5.7	—	—	—	481.2
資産見返寄附金	545.6	134.4	43.2	—	1.2	724.6
長期預り補助金等	4.8	—	—	—	—	4.8
長期預り寄附金	173.6	—	—	—	0.6	174.2
機構債	190,218.3	31,648.6	23,431.8	791.2	63.7	246,154.2
債券発行差額	△ 658.6	△ 138.9	△ 100.4	△ 3.9	△ 0.2	△ 902.3
長期借入金	4,362.9	3,794.3	1,418.9	56.1	1.3	9,633.7
長期未払金	4,754.0	—	—	—	—	4,754.0
引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	199,876.5	35,444.3	24,793.5	843.5	66.8	261,024.8
III 法令に基づく引当金等						
高速道路利便増進事業引当金	—	3,848.4	2,680.5	20.9	—	6,549.8
法令に基づく引当金等合計	—	3,848.4	2,680.5	20.9	—	6,549.8
負債合計	221,855.6	43,483.8	31,220.8	999.8	96.9	297,657.1
純資産の部						
I 資本金						
政府出資金	31,132.8	5,461.1	3,550.7	225.9	—	40,370.7
地方公共団体出資金	5,798.0	5,461.1	3,550.7	225.9	—	15,035.9
資本金合計	36,930.9	10,922.3	7,101.5	451.9	—	55,406.6
II 資本剰余金						
資本剰余金	0.8	—	—	—	—	0.8
施行法第15条による積立金	12,237.4	2,996.9	△ 7,441.2	—	682.6	8,475.7
資本剰余金合計	12,238.3	2,996.9	△ 7,441.2	—	682.6	8,476.6
III 利益剰余金						
積立金	38,812.0	88.4	355.9	△ 180.3	111.1	39,187.3
当期未処分利益	5,732.5	51.7	92.9	△ 3.3	△ 189.2	5,684.6
利益剰余金合計	44,544.6	140.2	448.9	△ 183.6	△ 78.1	44,871.9
純資産合計	93,713.8	14,059.4	109.1	268.3	604.4	108,755.2
負債純資産合計	315,569.4	57,543.2	31,330.0	1,268.1	701.4	406,412.4

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)(一の路線)

[単位:億円]

	一の路線			
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠 道路))	一般国道31号 (広島県道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)
資産の部				
I 流動資産				
現金預金	0.2	0.1	1.0	0.4
道路資産貸付料等未収入金	0.6	1.6	9.2	6.4
未収入金	0.0	0.0	0.0	0.0
貯蔵品	0.0	0.0	0.0	0.0
前払金	0.0	0.0	0.0	0.0
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	0.8	1.7	10.3	6.9
II 固定資産				
1 有形固定資産				
建物	0.0	3.1	4.2	2.2
減価償却累計額	0.0	△ 1.3	△ 1.4	△ 0.8
構築物	—	14.2	335.0	208.6
減価償却累計額	—	△ 7.0	△ 104.5	△ 53.3
機械装置	—	18.0	10.3	15.2
減価償却累計額	—	△ 15.5	△ 5.5	△ 10.7
工具器具備品	0.0	0.0	0.0	0.0
減価償却累計額	0.0	0.0	0.0	0.0
土地	—	—	248.4	9.4
建設仮勘定	—	—	—	—
有形固定資産合計	0.0	11.5	486.4	170.5
2 無形固定資産				
借地権	—	—	0.0	—
ソフトウェア	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
無形固定資産合計	0.0	0.0	0.0	0.0
3 投資その他の資産				
敷金保証金	0.0	0.0	0.0	0.0
投資その他の資産合計	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産合計	0.0	11.5	486.4	170.5
資産合計	0.8	13.2	496.8	177.4
負債の部				
I 流動負債				
1年以内償還予定機構債	—	0.8	6.8	0.1
債券発行差額	—	0.0	0.0	0.0
1年以内返済予定長期借入金	—	0.0	0.1	0.0
未払金	6.2	0.8	6.2	3.8
未払費用	0.0	0.0	0.2	0.0
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0
賞与引当金	0.0	0.0	0.0	0.0
流動負債合計	6.2	1.7	13.3	4.0
II 固定負債				
資産見返負債	—	0.1	1.0	0.0
資産見返寄附金	—	0.1	1.0	0.0
機構債	△ 7.1	8.0	70.9	△ 3.7
債券発行差額	—	0.0	△ 0.2	0.0
長期借入金	—	0.1	1.1	0.0
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.0
固定負債合計	△ 7.1	8.4	73.4	△ 3.5
III 法令に基づく引当金等				
法令に基づく引当金等合計	—	—	—	—
負債合計	△ 0.8	10.1	86.8	0.5
純資産の部				
I 資本金				
資本金合計	—	—	—	—
II 資本剰余金				
施行法第15条による積立金	42.5	△ 8.9	258.1	71.2
資本剰余金合計	42.5	△ 8.9	258.1	71.2
III 利益剰余金				
積立金	182.9	9.9	130.1	95.0
当期未処分利益	△ 223.7	2.0	21.7	10.6
利益剰余金合計	△ 40.7	12.0	151.8	105.7
純資産合計	1.7	3.0	410.0	176.9
負債純資産合計	0.8	13.2	496.8	177.4

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(損益計算書)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位:億円]

	東日本高速道路(株) 所管分	中日本高速道路(株) 所管分	西日本高速道路(株) 所管分	本州四国連絡 高速道路(株)所管分	合計
経常費用					
道路資産貸付業務費	2,648.8	2,211.1	2,315.2	394.5	7,569.8
貸付原価	2,648.8	2,211.1	2,315.2	394.5	7,569.8
貸付道路資産減価償却費	2,489.3	2,011.1	2,234.1	371.8	7,106.4
固定資産除却損	146.9	154.1	77.6	22.2	400.9
その他	12.5	45.8	3.5	0.4	62.3
経営努力助成業務費	0.8	0.5	2.1	—	3.4
経営努力助成金	0.8	0.5	2.1	—	3.4
一般管理費	6.2	△ 0.4	5.9	0.8	12.6
人件費	2.8	2.3	2.5	0.2	7.9
経費	3.4	△ 2.7	3.3	0.6	4.6
財務費用	1,062.2	892.1	982.5	93.7	3,030.7
支払利息	1,046.7	880.5	967.9	92.3	2,987.7
債券利息	988.9	850.2	937.3	89.6	2,866.2
債券発行差額償却費	22.0	17.7	21.2	1.8	62.8
支払利息	35.7	12.5	9.3	0.8	58.6
債券発行費	14.3	10.6	13.4	1.2	39.6
その他の財務費用	1.1	1.0	1.1	0.1	3.4
道路資産取得関連費用	77.9	234.2	51.5	1.5	365.3
道路建設人件費償却費	34.7	57.9	23.2	0.9	116.9
道路建設経費償却費	35.8	73.0	21.6	0.5	131.1
道路建設金利償却費	7.4	103.2	6.6	0.0	117.2
雑損	0.3	1.4	1.2	0.0	2.9
経常費用合計	3,796.6	3,339.0	3,358.6	490.7	10,985.0
経常収益					
道路資産貸付料収入	5,818.2	4,784.9	5,287.8	454.4	16,345.5
占用料収入	3.2	2.3	2.5	0.7	9.0
連結料収入	6.5	9.5	5.8	0.4	22.3
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	88.8	85.1	81.9	—	256.0
寄附金収益	3.8	9.2	0.1	—	13.3
資産見返負債戻入	46.1	11.5	9.0	0.1	66.8
資産見返補助金等戻入	38.4	—	—	—	38.4
資産見返寄附金戻入	7.7	11.5	9.0	0.1	28.4
財務収益	0.6	0.5	0.6	0.0	1.8
受取利息	0.6	0.5	0.6	0.0	1.8
雑益	4.4	4.1	4.0	0.3	12.9
経常収益合計	5,972.0	4,907.4	5,392.0	456.3	16,728.0
経常利益又は経常損失(△)	2,175.3	1,568.4	2,033.4	△ 34.3	5,743.0
臨時損失					
固定資産除却損	8.5	1.2	2.9	0.0	12.7
固定資産売却損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産売却損	8.5	1.2	2.9	—	12.7
臨時利益					
固定資産売却益	—	1.2	1.0	—	2.3
固定資産売却益	—	1.1	1.0	—	2.1
その他	—	0.1	—	—	0.1
当期純利益又は当期純損失(△)	2,166.9	1,568.4	2,031.5	△ 34.3	5,732.5
当期総利益又は当期総損失(△)	2,166.9	1,568.4	2,031.5	△ 34.3	5,732.5

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路機構のセグメント情報(貸借対照表)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位:億円]

	東日本高速道路㈱ 所管分	中日本高速道路㈱ 所管分	西日本高速道路㈱ 所管分	本州四国連絡 高速道路㈱所管分	合計
資産の部					
I 流動資産					
現金預金	184.6	151.8	167.8	14.4	518.8
道路資産貸付料等未収入金	1,529.3	1,001.2	1,227.1	85.5	3,843.3
未収入金	4.5	3.0	9.2	0.2	17.1
短期貸付金	0.8	1.6	1.4	—	3.9
貯蔵品	5.0	0.8	25.9	0.0	31.8
前払金	0.5	0.4	0.4	0.0	1.4
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	1,724.9	1,159.1	1,432.0	100.3	4,416.5
II 固定資産					
1 有形固定資産					
建物	1,310.4	1,078.9	1,132.5	108.8	3,630.7
減価償却累計額	△ 451.5	△ 304.6	△ 342.6	△ 43.4	△ 1,142.2
構築物	97,820.4	81,122.9	89,389.7	24,380.3	292,713.5
減価償却累計額	△ 23,525.0	△ 16,363.3	△ 21,048.3	△ 3,722.1	△ 64,658.8
機械装置	3,443.7	3,750.2	3,500.1	377.2	11,071.4
減価償却累計額	△ 1,886.9	△ 1,486.8	△ 1,883.1	△ 179.5	△ 5,436.5
工具器具備品	19.4	18.4	2.8	0.1	40.8
減価償却累計額	△ 12.5	△ 10.3	△ 2.0	△ 0.1	△ 25.0
土地	21,109.3	24,668.6	24,213.3	2,229.3	72,220.5
建設仮勘定	1,147.5	1,221.7	274.8	—	2,644.1
有形固定資産合計	98,974.8	93,695.7	95,237.2	23,150.7	311,058.6
2 無形固定資産					
借地権	18.9	17.8	10.4	15.4	62.6
ソフトウェア	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
その他	2.7	7.4	5.1	0.0	15.3
無形固定資産合計	21.7	25.3	15.6	15.5	78.2
3 投資その他の資産					
長期貸付金	5.5	4.8	5.4	—	15.9
敷金保証金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
投資その他の資産合計	5.5	4.9	5.5	0.0	16.1
固定資産合計	99,002.1	93,726.0	95,258.4	23,166.2	311,152.9
資産合計	100,727.1	94,885.1	96,690.5	23,266.5	315,569.4
負債の部					
I 流動負債					
預り寄附金	—	1.1	—	—	1.1
1年以内償還予定機構債	7,318.7	5,635.9	6,511.8	668.0	20,134.5
債券発行差額	△ 1.2	△ 0.9	△ 1.0	△ 0.1	△ 3.3
1年以内返済予定長期借入金	177.2	136.4	157.7	189.7	661.2
未払金	584.4	△ 443.0	372.1	101.1	614.7
未払費用	203.6	162.8	185.7	18.0	570.2
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.1	0.1	0.1	0.0	0.5
賞与引当金	0.1	0.1	0.1	0.0	0.5
流動負債合計	8,283.0	5,492.5	7,226.4	976.9	21,979.0
II 固定負債					
資産見返負債	609.5	254.7	154.9	1.9	1,021.1
資産見返補助金等	475.5	—	—	—	475.5
資産見返寄附金	134.0	254.7	154.9	1.9	545.6
長期預り補助金等	2.2	1.2	1.3	—	4.8
長期預り寄附金	61.8	50.8	56.1	4.8	173.6
機構債	69,143.2	53,244.3	61,519.4	6,311.0	190,218.3
債券発行差額	△ 239.4	△ 184.3	△ 212.9	△ 21.8	△ 658.6
長期借入金	1,238.1	953.4	1,101.6	1,069.7	4,362.9
長期未払金	4,754.0	—	—	—	4,754.0
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	75,569.7	54,320.4	62,620.5	7,365.8	199,876.5
III 法令に基づく引当金等					
法令に基づく引当金等合計	—	—	—	—	—
負債合計	83,852.8	59,812.9	69,847.0	8,342.7	221,855.6
貸借差額調整勘定	2,957.5	△ 4,760.4	△ 3,005.6	4,808.5	—
純資産の部					
I 資本金					
政府出資金	7,668.0	5,104.5	6,776.0	11,584.1	31,132.8
地方公共団体出資金	—	—	—	5,798.0	5,798.0
資本金合計	7,668.0	5,104.5	6,776.0	17,382.2	36,930.9
II 資本剰余金					
資本剰余金	0.3	0.0	0.4	—	0.8
施行法第15条による積立金	△ 6,270.5	16,583.3	8,528.7	△ 6,604.0	12,237.4
資本剰余金合計	△ 6,270.2	16,583.4	8,529.1	△ 6,604.0	12,238.3
III 利益剰余金					
積立金	10,351.9	16,576.3	12,512.3	△ 628.6	38,812.0
当期末処分利益	2,166.9	1,568.4	2,031.5	△ 34.3	5,732.5
利益剰余金合計	12,518.9	18,144.7	14,543.8	△ 662.9	44,544.6
純資産合計	13,916.7	39,832.7	29,849.1	10,115.2	93,713.8
負債純資産合計	100,727.1	94,885.1	96,690.5	23,266.5	315,569.4

注1) 政府出資金は、各高速道路会社の貸付料で返済する債務を試算した際に、高速道路機構設立時における各高速道路会社の政府出資金と有利子債務の割合を同一と仮定して算出した試算値である。
注2) 負債については各会社から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を各会社ごとに試算した平成28年度期首の債務額を基に区分したことによる所要の調整を「貸借差額調整勘定」として表現している。
注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路会社連結損益計算書一覧

[単位:億円(消費税抜)]

東日本高速道路株式会社	中日本高速道路株式会社	西日本高速道路株式会社	本州四国連絡高速道路株式会社	首都高速道路株式会社	阪神高速道路株式会社
1 営業収益 10,771 10,771	1 営業収益 13,003 13,003	1 営業収益 8,841 8,841	1 営業収益 792 792	1 営業収益 3,084 3,084	1 営業収益 2,568 2,568
2 営業費用 5,818	2 営業費用 4,795	2 営業費用 5,336	2 営業費用 454	2 営業費用 1,841	2 営業費用 1,297
営業収益 4,953	営業収益 8,208	営業収益 3,505	営業収益 338	営業収益 1,243	営業収益 1,271
1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0
2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0
営業利益 4,953	営業利益 8,208	営業利益 3,505	営業利益 338	営業利益 1,243	営業利益 1,271
1 特別損失 14	1 特別損失 118	1 特別損失 0	1 特別損失 0	1 特別損失 0	1 特別損失 0
2 特別損失 2	2 特別損失 2	2 特別損失 0	2 特別損失 0	2 特別損失 0	2 特別損失 0
当期純利益 2,937	当期純利益 6,088	当期純利益 3,505	当期純利益 338	当期純利益 1,243	当期純利益 1,271
1 法人税、住民税及び事業税 142	1 法人税、住民税及び事業税 37	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0
2 法人税等調整額 △0	2 法人税等調整額 △0	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2
当期純利益 142	当期純利益 80	当期純利益 3	当期純利益 0	当期純利益 0	当期純利益 0
親会社株主に帰属する当期純利益 142	親会社株主に帰属する当期純利益 79	親会社株主に帰属する当期純利益 1	親会社株主に帰属する当期純利益 0	親会社株主に帰属する当期純利益 0	親会社株主に帰属する当期純利益 0
1 営業収益 10,771	1 営業収益 13,003	1 営業収益 8,841	1 営業収益 792	1 営業収益 3,084	1 営業収益 2,568
2 営業費用 5,818	2 営業費用 4,795	2 営業費用 5,336	2 営業費用 454	2 営業費用 1,841	2 営業費用 1,297
営業収益 4,953	営業収益 8,208	営業収益 3,505	営業収益 338	営業収益 1,243	営業収益 1,271
1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0	1 営業外収益 0
2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0	2 営業外費用 0
営業利益 4,953	営業利益 8,208	営業利益 3,505	営業利益 338	営業利益 1,243	営業利益 1,271
1 特別損失 14	1 特別損失 118	1 特別損失 0	1 特別損失 0	1 特別損失 0	1 特別損失 0
2 特別損失 2	2 特別損失 2	2 特別損失 0	2 特別損失 0	2 特別損失 0	2 特別損失 0
当期純利益 2,937	当期純利益 6,088	当期純利益 3,505	当期純利益 338	当期純利益 1,243	当期純利益 1,271
1 法人税、住民税及び事業税 142	1 法人税、住民税及び事業税 37	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0	1 法人税、住民税及び事業税 0
2 法人税等調整額 △0	2 法人税等調整額 △0	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2	2 法人税等調整額 2
当期純利益 142	当期純利益 80	当期純利益 3	当期純利益 0	当期純利益 0	当期純利益 0
親会社株主に帰属する当期純利益 142	親会社株主に帰属する当期純利益 79	親会社株主に帰属する当期純利益 1	親会社株主に帰属する当期純利益 0	親会社株主に帰属する当期純利益 0	親会社株主に帰属する当期純利益 0

[注] 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路会社連結貸借対照表一覧

[単位:億円(消費税抜き)]

東日本高速道路株		中日本高速道路株		西日本高速道路株		本州四国連絡高速道路株		首都高速道路株		阪神高速道路株	
I 流動資産	9,399	I 流動資産	8,703	I 流動資産	9,201	I 流動資産	311	I 流動資産	5,025	I 流動資産	1,984
現金及び預金	578	現金及び預金	734	現金及び預金	1,027	現金及び預金	158	現金及び預金	208	現金及び預金	76
高速道路事業営業未収入金	990	高速道路事業営業未収入金	723	高速道路事業営業未収入金	678	未収入金	70	高速道路事業営業未収入金	252	高速道路事業営業未収入金	316
未収入金	225	未収入金	97	短期貸付金	50	有価証券	34	未収入金	137	未収入金	86
有価証券	899	有価証券	0	有価証券	620	たな卸資産	38	有価証券	420	未収還付法人税等	0
仕掛道路資産	6,301	仕掛道路資産	6,831	仕掛道路資産	6,295	仕掛道路資産	4	たな卸資産	3,788	未収還付法人税等	0
その他のたな卸資産	37	たな卸資産	29	その他	530	繰延税金資産	1	受託業務前払金	175	有価証券	185
受託業務前払金	76	繰延税金資産	28	貸倒引当金	△ 0	その他	4	前払金	20	仕掛道路資産	1,278
繰延税金資産	12	その他	257			貸倒引当金	△ 0	繰延税金資産	11	原材料及び貯蔵品	2
その他	277	貸倒引当金	△ 0					その他	12	受託業務前払金	15
貸倒引当金	△ 0							貸倒引当金	△ 2	繰延税金資産	10
										その他	13
										貸倒引当金	△ 0
II 固定資産	2,801	II 固定資産	2,852	II 固定資産	2,548	II 固定資産	227	II 固定資産	631	II 固定資産	435
有形固定資産	2,341	有形固定資産	2,624	有形固定資産	2,307	有形固定資産	217	有形固定資産	592	有形固定資産	396
建物	403	建物	423	建物及び構築物	742	建物及び構築物	59	建物	86	建物及び構築物	163
構築物	392	構築物	441	機械装置及び運搬具	569	機械及び運搬具	49	構築物	181	機械装置及び運搬具	147
機械及び装置	473	機械及び装置	378	土地	856	土地	91	機械及び装置	196	土地	38
車両運搬具	86	車両運搬具	75	その他	138	リース資産	1	車両運搬具	16	リース資産	29
工具、器具及び備品	44	工具、器具及び備品	46	無形固定資産	85	その他	14	工具、器具及び備品	11	建設仮勘定	11
土地	874	土地	1,204	投資その他の資産	155	無形固定資産	4	土地	76	土地	4
リース資産	34	リース資産	16	長期前払費用	25	投資その他の資産	5	リース資産	1	無形固定資産	14
建設仮勘定	31	建設仮勘定	38	退職給付に係る資産	15	投資有価証券	2	建設仮勘定	22	ソフトウェア	14
無形固定資産	105	無形固定資産	88	その他	118	長期前払費用	0	無形固定資産	17	その他	0
投資その他の資産	354	投資その他の資産	138	貸倒引当金	△ 3	その他	3	投資その他の資産	20	投資その他の資産	24
投資有価証券	257	投資有価証券	55			貸倒引当金	△ 0	投資有価証券	1	投資有価証券	7
長期前払費用	21	繰延税金資産	30					敷金	10	繰延税金資産	3
退職給付に係る資産	0	退職給付に係る資産	2					繰延税金資産	3	その他	12
繰延税金資産	43	その他	55					その他	3	貸倒引当金	△ 0
その他	32	貸倒引当金	△ 5								
貸倒引当金	△ 0										
III 繰延資産	6	III 繰延資産	9	III 繰延資産	8						
道路建設関係社債発行費	6	道路建設関係社債発行費	9								
資産合計	12,208	資産合計	11,565	資産合計	11,758	資産合計	539	資産合計	5,656	資産合計	2,419
I 流動負債	2,764	I 流動負債	2,338	I 流動負債	2,467	I 流動負債	138	I 流動負債	1,805	I 流動負債	441
高速道路事業営業未払金	2,132	高速道路事業営業未払金	1,582	支払手形及び買掛金	163	未払金	103	高速道路事業営業未払金	257	高速道路事業営業未払金	347
1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	1	高速道路事業営業未払金	1,882	短期借入金	8	短期借入金	2	未払金	41
リース債務	12	未払金	480	1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	1,141	リース債務	3
未払金	324	未払法人税等	29	未払法人税等	27	リース債務	0	リース債務	0	未払法人税等	8
未払法人税等	53	賞与引当金	31	受託業務前受金	31	未払法人税等	4	未払金	114	未払消費税等	5
預り金	15	その他	214	前受金	0	前受金	7	未払法人税等	24	受託業務前受金	6
受託業務前受金	106			賞与引当金	35	賞与引当金	4	預り金	3	前受金	2
前受金	0			回数券払戻引当金	0	その他	10	受託業務前受金	189	賞与引当金	13
賞与引当金	55			その他	325			前受金	3	その他	12
その他	64							賞与引当金	14		
								災害損失引当金	48		
								その他	48		
II 固定負債	7,755	II 固定負債	7,320	II 固定負債	7,723	II 固定負債	257	II 固定負債	3,497	II 固定負債	1,648
道路建設関係社債	4,008	道路建設関係社債	5,357	道路建設関係社債	3,163	長期借入金	47	道路建設関係社債	1,371	道路建設関係社債	534
道路建設関係長期借入金	2,406	道路建設関係長期借入金	680	道路建設関係長期借入金	3,293	リース債務	1	道路建設関係長期借入金	1,581	道路建設関係長期借入金	759
長期借入金	0	長期借入金	8	長期借入金	0	長期前払金	4	その他の長期借入金	36	リース債務	25
リース債務	26	役員退職慰労引当金	2	役員退職慰労引当金	3	退職給付に係る負債	182	リース債務	1	繰延税金負債	0
受入保証金	93	ETCマイルプログラム引当金	85	ETCマイルプログラム引当金	93	役員退職慰労引当金	0	役員退職慰労引当金	1	役員退職慰労引当金	1
ETCマイルプログラム引当金	95	ボイロ引当金	0	退職給付に係る負債	944	ETCマイルプログラム引当金	6	退職給付に係る負債	500	ETCマイルプログラム引当金	0
その他の引当金	6	退職給付に係る負債	912	その他	223	負のれん	10	退職給付に係る負債	3	退職給付に係る負債	319
退職給付に係る負債	1,075	その他	274			その他	4	その他	3	その他	6
負のれん	37										
その他	5										
負債合計	10,520	負債合計	9,658	負債合計	10,190	負債合計	396	負債合計	5,303	負債合計	2,089
I 株主資本	1,950	I 株主資本	2,142	I 株主資本	1,777	I 株主資本	183	I 株主資本	476	I 株主資本	419
資本金	525	資本金	650	資本金	475	資本金	40	資本金	135	資本金	100
資本剰余金	587	資本剰余金	718	資本剰余金	554	資本剰余金	40	資本剰余金	135	資本剰余金	100
利益剰余金	837	利益剰余金	773	利益剰余金	747	利益剰余金	103	利益剰余金	206	利益剰余金	219
II その他の包括利益累計額	△ 26	II その他の包括利益累計額	△ 256	II その他の包括利益累計額	△ 211	II その他の包括利益累計額	△ 40	II その他の包括利益累計額	△ 126	II その他の包括利益累計額	△ 93
その他有価証券評価差額金	0	その他有価証券評価差額金	0	その他有価証券評価差額金	0	退職給付に係る調整累計額	△ 40	退職給付に係る調整累計額	△ 126	その他有価証券評価差額金	△ 0
退職給付に係る調整累計額	△ 26	退職給付に係る調整累計額	△ 256	退職給付に係る調整累計額	△ 211					退職給付に係る調整累計額	△ 93
III 非支配株主持分	20	III 非支配株主持分	20	III 非支配株主持分	1	III 非支配株主持分	4	III 非支配株主持分	4	III 非支配株主持分	4
純資産合計	1,687	純資産合計	1,906	純資産合計	1,567	純資産合計	143	純資産合計	353	純資産合計	330
負債・純資産合計	12,208	負債・純資産合計	11,565	負債・純資産合計	11,758	負債・純資産合計	539	負債・純資産合計	5,656	負債・純資産合計	2,419

平成27年度(2015年度) 高速道路機構と高速道路会社の資産と債務の状況

< 高速道路機構 >

[単位: 億円(消費税抜き)]

項目	全国路線網				地域路線網				一の路線					
	東日本 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	本州四国連絡 高速道路株	首都高速道路		阪神高速道路 (阪神圏)		阪神高速道路 (京都圏)					
					東日本 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	本州四国連絡 高速道路株	首都 高速道路株	阪神 高速道路株	阪神 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	
高速道路機構	東日本 高速道路株 中日本 高速道路株 西日本 高速道路株 本州四国連絡 高速道路株													
道路資産	396,126	308,492	97,849	92,499	94,978	23,166	55,924	29,779	1,263	669	12	657		
建設仮勘定	3,417	2,644	1,148	1,222	275	0	57	716	0	0	0	0		
合計	399,543	311,136	98,996	93,721	95,253	23,166	55,981	30,495	1,263	669	12	657		
借入金	11,382	5,024	1,415	1,090	1,259	1,260	4,531	1,756	70	2	0	1		
債券	271,995	209,373	76,106	58,606	67,714	6,947	35,058	26,435	1,046	83	9	74		
長期未払金	4,775	4,775	4,775	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	288,153	219,173	82,297	59,696	68,974	8,206	39,589	28,191	1,116	85	9	75		

< 高速道路会社 >

[単位: 億円(消費税抜き)]

項目	全国路線網				地域路線網				一の路線					
	東日本 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	本州四国連絡 高速道路株	首都高速道路		阪神高速道路 (阪神圏)		阪神高速道路 (京都圏)					
					東日本 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	本州四国連絡 高速道路株	首都 高速道路株	阪神 高速道路株	阪神 高速道路株	中日本 高速道路株	西日本 高速道路株	
高速道路機構	東日本 高速道路株 中日本 高速道路株 西日本 高速道路株 本州四国連絡 高速道路株													
仕掛道路資産	—	19,502	6,319	6,848	6,307	28	3,781	1,250	0	15	0	15		
借入金	—	6,417	2,406	680	3,284	47	2,686	759	0	8	0	8		
債券	—	12,520	4,008	5,357	3,155	—	1,371	535	0	7	0	7		
合計	—	18,937	6,414	6,037	6,439	47	4,057	1,294	0	15	0	15		

注1) 本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の資産・債務の状況(決算値ベース)を示しており、料金の徴収施設等高速道路会社固有の資産に関するものは含まない。

なお、各項目の「(機構分)」については、高速道路機構の金額を各セグメントにも内訳として記載している。

注2) 「借入金(会社分)」及び「債券(会社分)」は、協定に基づき高速道路会社が高速道路機構へ引渡すこととなるが、債務引受限度額を超過した場合、その超過分については高速道路機構へ引き渡されない。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路機構と高速道路会社の債務の状況の推移

[単位:億円]

項目	高速道路機構	高速道路会社							合計
		東日本 高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)	本州四国連絡 高速道路(株)	首都 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	高速道路 会社計	
機構発足時	382,179	1,263	2,694	882	4	2,145	693	7,680	389,859
平成17年度	372,858	1,957	3,715	1,170	17	2,536	851	10,246	383,104
平成18年度	361,125	2,850	5,935	2,272	18	3,534	1,299	15,908	377,033
平成19年度	352,236	3,221	7,875	2,498	20	2,932	1,543	18,089	370,325
平成20年度	313,801	3,942	9,279	3,429	38	3,676	1,642	22,006	335,807
平成21年度	312,870	4,142	11,019	3,101	37	2,587	2,041	22,927	335,797
平成22年度	306,799	4,043	12,580	3,194	33	2,878	1,742	24,470	331,269
平成23年度	303,244	3,344	15,462	3,497	36	3,701	1,644	27,684	330,928
平成24年度	307,982	3,745	7,059	4,497	52	3,359	2,103	20,815	328,797
平成25年度	299,828	4,046	9,625	4,548	47	4,447	1,085	23,798	323,626
平成26年度	293,925	4,198	9,972	4,408	47	3,480	1,333	23,438	317,363
平成27年度	288,153	6,414	6,037	6,454	47	4,057	1,294	24,303	312,456

注1)本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の債務の状況(決算値ベース)を示したものである。

注2)全国路線網・地域路線網・一の路線すべての合計である。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速道路株】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価	
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	9,508.0	75.5	28.0	9,555.5	208.2	2,164.0	7,391.4	12,947.6
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内創路線	札幌自動車道				1,821.2	12.3	2.1	1,831.5	41.1	439.9	1,391.5	2,637.2
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内創路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道	244	S46-	91	4,261.8	47.9	2.2	4,307.5	90.9	795.4	3,512.0	4,676.7
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	3,243.2	6.3	1.1	3,248.4	58.7	701.3	2,547.0	4,188.5
		東北自動車道				11,544.0	388.0	37.1	11,894.9	298.3	2,974.1	8,920.7	20,339.2
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	1,711.2	32.2	14.8	1,728.5	39.2	412.6	1,315.8	2,480.4
		青森自動車道				475.8	1.7	0.1	477.4	7.2	102.6	374.8	498.3
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	297.8	0.7	0.1	298.5	5.0	65.5	232.9	317.4
		秋田自動車道				2,534.4	16.2	6.3	2,544.3	47.6	578.2	1,966.0	3,270.0
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	3,552.4	17.9	6.9	3,563.4	67.5	784.2	2,779.2	4,366.5
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	5,769.3	39.8	11.0	5,798.1	111.8	1,280.0	4,518.0	7,240.0
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	2,678.7	59.2	4.1	2,733.8	50.8	543.7	2,190.1	2,998.8
		秋田自動車道				412.1	0.8	0.1	412.8	7.6	105.4	307.3	445.9
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	816.8	1.1	0.0	817.9	13.1	167.1	650.7	869.8
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	9,551.1	86.4	17.5	9,620.0	174.4	1,856.0	7,764.0	14,310.7
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	7,925.2	49.2	15.9	7,958.5	143.8	1,677.4	6,281.1	9,696.5
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	313	S56-H26	100	1,754.1	3.4	0.6	1,756.9	36.2	416.4	1,340.4	2,234.4
		常磐自動車道				8,453.1	119.2	7.0	8,565.3	184.2	1,575.8	6,989.5	11,721.4
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	1,722.3	8.5	0.7	1,730.1	29.2	319.7	1,410.3	2,000.8
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	583.0	0.0	0.0	583.0	13.5	141.0	442.0	583.0
		東関東自動車道				3,616.3	43.1	3.2	3,656.1	72.3	734.8	2,921.3	5,535.7
	高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	5,493.0	9.6	5.8	5,496.8	94.1	841.2	4,655.5	5,740.0
	高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	1,760.2	6.1	4.7	1,761.6	32.9	371.4	1,390.1	2,299.3
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	7,092.1	57.8	7.4	7,142.5	149.9	1,590.3	5,552.1	10,375.0	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	55.2	1.9	0.2	56.9	1.4	16.6	40.3	106.6	

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速道路株】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	1,284.9	1.0	0.2	1,285.8	14.7	180.8	1,104.9	1,676.4
	一般国道6号 (東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	53.4	0.2	0.0	53.6	2.1	26.2	27.4	84.2
	一般国道6号 (仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	652.1	21.6	0.9	672.9	13.5	137.4	535.4	833.0
	一般国道6号 (仙台南部道路)	仙台南部道路	12.2	S55-H13	100	162.9	0.9	0.2	163.6	3.3	9.5	154.0	163.6
	一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	21.7	1.2	0.0	22.9	0.5	12.3	10.6	46.8
	一般国道7号 (雫鹿代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	28.4	0.1	0.0	28.5	0.7	19.7	8.8	36.9
	一般国道13号 (米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	27.2	0.2	0.0	27.5	0.8	13.0	14.4	45.6
	一般国道13号 (湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	24.9	0.5	0.0	25.4	0.7	14.9	10.5	75.1
	一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	2,969.6	17.3	2.5	2,984.4	40.4	493.2	2,491.2	4,084.9
	一般国道16号 (横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	3,751.2	4.6	0.8	3,755.0	35.2	392.7	3,362.2	4,578.5
	一般国道45号 (三陸横貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	38.5	35.5	0.6	73.4	1.8	17.1	56.2	93.3
	一般国道45号 (百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	13.5	0.1	0.0	13.6	0.3	6.0	7.6	25.4
	一般国道47号 (仙台北部道路)	仙台北部道路	13.5	H14-H25	100	88.6	0.4	0.3	88.7	3.1	28.2	60.4	96.3
	一般国道126号 (千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32.2	S53-H9	100	676.9	2.9	0.2	679.6	12.0	140.6	539.0	954.5
	一般国道127号 (富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	65.7	1.6	0.4	67.0	2.6	42.6	24.4	94.3
	一般国道233号 (深川・曹原自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4.4	H10	100	9.6	0.4	0.0	10.0	0.2	5.9	4.0	18.8
	一般国道235号 (日高自動車道(苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	6.8	0.8	0.0	7.5	0.2	3.7	3.8	11.5
	一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン	22.2	H7-9	100	10,289.7	18.9	12.7	10,296.0	257.5	2,763.8	7,532.2	12,524.3
		東京湾アクアライン連絡道				650.9	4.2	0.1	654.9	13.8	148.4	506.5	787.9
	一般国道468号 (東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道 (東金JCT~木更津JCT)	50.0	H18-25	100	384.1	17.1	0.3	400.9	14.6	61.2	339.7	404.5
	一般国道466号 (第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	1,623.0	99.2	0.3	1,721.9	17.1	221.0	1,500.9	2,567.6
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (横浜市から藤沢市まで及びあきる野市から山武市まで(あきる野ICを含む。))	圏央道 (あきる野~大栄JCT)	122.1	H7-	69	2,552.3	616.8	6.5	3,162.6	73.1	494.1	2,668.5	3,381.3
	総計			3,840	—	—	122,010.5	1,932.6	204.7	123,738.4	2,489.3	25,889.6	97,848.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-2【中日本高速道路㈱】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	7,215.2	57.1	17.2	7,255.1	90.0	1,064.5	6,190.6	9,801.2
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	6,657.5	264.0	50.4	6,871.1	134.5	1,449.8	5,421.3	11,039.2
		名神高速道路				2,225.1	107.5	132.2	2,200.4	53.2	557.0	1,643.3	4,071.0
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	1,092.0	16.6	3.5	1,105.1	20.7	219.4	885.7	1,568.9
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	18,612.5	250.3	26.7	18,836.1	269.6	3,283.6	15,552.5	28,054.4
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	9,598.4	93.0	8.8	9,682.7	185.4	1,932.7	7,749.9	10,960.4
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	28,445.6	4,695.1	45.6	33,095.1	542.7	2,986.9	30,108.1	33,428.3
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	712.9	5.3	0.3	717.9	11.6	126.6	591.3	741.6
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	6,662.1	172.4	19.1	6,815.4	155.3	1,605.6	5,209.8	11,327.4
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	1,683.1	20.1	2.7	1,700.4	33.6	389.8	1,310.5	2,349.1
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	7,025.9	51.4	1.3	7,075.9	167.4	1,599.2	5,476.6	9,349.5
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	5,397.8	16.5	3.9	5,410.4	96.7	998.4	4,411.9	5,683.1
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	1,173.7	2.1	0.4	1,175.3	25.5	173.6	1,001.6	1,175.5
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線 (小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	1,335.8	1.4	0.7	1,336.6	34.1	60.4	1,276.1	1,337.8
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	421.9	14.0	0.2	435.7	10.4	109.5	326.2	617.7
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	812.9	12.4	1.8	823.4	20.6	201.2	622.2	1,347.7
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	291.5	2.9	0.3	294.1	5.3	63.5	230.6	449.1
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S38	100	885.6	14.1	2.4	897.3	14.9	201.4	695.8	1,536.8
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6.1	S59-H9	100	2,365.7	18.1	2.5	2,381.3	58.7	622.2	1,759.1	2,961.6
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道(茅ヶ崎JCT~寒川北、海老名~あきる野)	44.0	H19-H26	100	1,476.0	20.4	3.2	1,493.2	48.4	178.0	1,315.1	1,499.7
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79.0	H16-	53	1,044.6	23.0	2.7	1,064.9	31.4	345.1	719.8	1,082.7
	計(全国路線網)		2,023	—	—	105,136.7	5,858.6	326.8	110,668.5	2,011.1	18,169.4	92,499.1	140,383.7

1-2【中日本高速道路㈱】

	道路名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	254.2	1.6	255.8	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	34.5	0.9	0.0	35.4	1.5	23.9	11.5	60.4
総計			2,033	—	—	105,425.5	5,861.2	582.6	110,704.0	2,013.9	18,193.4	92,510.6	140,444.2

注1「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速道路株】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	8,662.7	45.9	10.1	8,698.5	126.7	1,374.0	7,324.4	11,586.9
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道 近畿自動車道	56	S43-62	100	1,562.1 3,668.0	9.2 13.3	0.3 0.7	1,571.0 3,680.6	26.6 79.4	255.2 755.6	1,315.7 2,924.9	2,285.2 5,221.6
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	2,779.2	2.0	0.9	2,780.3	51.6	420.4	2,359.9	2,782.2
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	5,053.9	77.1	5.4	5,125.6	99.8	1,003.8	4,121.8	6,623.6
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狹自動車道	123	S61-H23	100	3,359.4	31.2	8.5	3,382.1	65.5	693.6	2,688.4	4,215.9
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	11,261.6	141.7	29.5	11,373.8	232.0	2,525.6	8,848.2	18,832.4
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	18,238.2	112.4	49.3	18,301.3	341.3	3,701.4	14,599.8	24,185.7
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52	461.7	0.4	0.0	462.1	8.4	102.7	359.3	488.3
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道 米子自動車道	107	H元-8	100	1,432.6 2,041.9	5.0 7.2	0.5 1.0	1,437.1 2,048.0	26.1 39.9	291.1 451.6	1,146.0 1,596.4	1,682.8 2,629.2
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道 山陰自動車道	26	H12-14	100	356.5 1,060.3	0.1 4.4	0.1 0.2	356.5 1,064.5	7.0 20.8	77.9 190.3	278.6 874.1	374.7 1,104.5
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100								
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道 浜田自動車道	71	S59-H3	100	595.6 886.3	4.4 4.1	1.3 0.8	598.7 889.6	13.1 17.1	147.4 192.6	451.2 697.0	908.8 1,236.7
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	3,450.8	23.9	2.7	3,472.0	61.1	588.2	2,883.7	3,994.6
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道				5,052.7	14.0	5.2	5,061.5	91.7	1,069.5	3,991.9	6,131.1
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道 高知自動車道	209	S62-	98	3,960.4 4,462.1	19.6 16.3	17.1 3.2	3,962.9 4,475.3	72.7 86.4	835.3 939.3	3,127.6 3,535.9	4,801.8 5,316.2
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	9,686.6	88.1	26.6	9,748.1	194.8	2,099.4	7,648.7	14,662.3
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	1,185.0	5.5	0.6	1,189.8	28.2	312.4	877.3	2,066.6
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道 大分自動車道	257	S57-H15	100	3,868.6 4,709.8	22.0 13.8	5.0 2.6	3,885.6 4,721.0	72.2 84.0	801.7 943.6	3,083.9 3,777.4	5,383.9 6,026.9
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	198	H11-	97	6,205.4	48.7	23.2	6,230.9	123.4	881.8	5,349.0	6,487.0
	高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	659.3	2.6	0.0	661.9	9.4	108.1	553.7	799.8
	高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	611.3	1.2	0.0	612.5	23.7	236.7	375.7	1,334.1
	高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	1,596.7	27.4	1.9	1,622.2	27.9	298.4	1,323.8	2,508.5
	高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	1,787.5	6.3	0.1	1,793.7	33.4	377.6	1,416.0
一般国道1号(第二京阪道路)		第二京阪道路	28.3	H14-21	100	2,421.0	0.9	0.7	2,421.3	44.9	335.1	2,086.2	2,451.4
一般国道2号(第二神明道路)		第二神明道路	29.9	S44-H10	100	1,665.4	9.4	0.9	1,673.9	23.5	258.1	1,415.8	2,226.3
一般国道2号(広島岩国道路)		広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	824.5	1.2	0.5	825.2	10.6	121.0	704.2	1,060.4
一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))		南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	24.4	0.4	0.0	24.9	0.8	17.2	7.7	41.4
一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島))		南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	39.1	1.3	0.3	40.1	1.1	23.7	16.4	62.1
一般国道9号(安来道路)		山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	46.1	0.4	0.0	46.5	1.6	31.4	15.0	72.1
一般国道9号(江津道路)		山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	27.0	2.3	0.0	29.2	0.5	14.3	14.9	32.9
一般国道10号(権田道路)		権田道路	10.3	H2	100	201.9	19.6	0.1	221.4	5.2	37.1	184.3	279.6

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速道路株】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道以外	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	179.3	2.2	0.6	181.0	3.9	45.7	135.3	262.8
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	23.1	0.3	0.1	23.3	0.6	16.1	7.2	32.2
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	83.0	0.1	0.1	83.0	2.0	18.6	64.4	109.9
	一般国道10号(単人道路)	単人道路	7.3	H3	100	123.7	0.5	0.0	124.3	2.3	27.0	97.2	164.8
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	84.4	3.0	1.2	86.1	3.2	47.1	38.9	132.8
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	613.2	4.2	3.4	614.0	9.1	102.4	511.6	771.6
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	409.5	4.4	0.2	413.7	6.4	71.8	341.8	596.7
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	153.9	2.3	1.3	154.9	3.7	54.9	99.9	216.8
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	25.3	1.5	0.3	26.5	0.6	17.7	8.8	39.3
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	1,130.8	89.2	1.1	1,218.9	26.0	176.2	1,042.7	1,438.6
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	378.4	1.1	0.1	379.4	10.8	78.6	300.7	379.6
	一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	442.3	1.0	0.0	443.4	9.7	101.6	341.7	645.9
	一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	19.0	0.1	0.0	19.2	0.9	8.3	10.8	24.6
計(全国路線網)			3,421	—	—	117,573.8	895.7	210.1	118,259.4	2,234.1	23,281.5	94,977.8	156,962.7

1-3 【西日本高速道路株】

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	596.9	1.3	0.2	598.1	10.1	111.6	486.4	867.0
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	235.3	0.2	0.0	235.5	4.5	65.0	170.5	245.9
総計			3,449	—	—	118,406.1	897.4	210.4	119,093.1	2,248.8	23,458.1	95,634.9	158,075.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-4 【本州四国連絡高速道路株】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道以外	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	13,902.7	69.9	25.2	13,947.3	188.4	2,009.3	11,938.0	16,211.0
	一般国道30号(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	6,382.6	21.1	9.8	6,393.9	97.9	998.8	5,395.0	8,270.1
	一般国道317号(本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	6,769.3	17.7	17.0	6,770.1	85.4	936.9	5,833.1	7,785.6
総計			172.9	—	—	27,054.7	108.8	52.1	27,111.4	371.8	3,945.2	23,166.2	32,266.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-5 【首都高速道路(株)】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	310.7	S37-	94	68,947.8	310.1	136.6	69,121.3	1,358.3	13,197.2	55,924.0	87,332.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【阪神高速道路(株)】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	249.1	S39-	95	37,229.0	686.5	73.4	37,842.1	801.0	8,063.3	29,778.7	49,404.6
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	1,469.6	1.2	0.1	1,470.7	26.2	208.2	1,262.5	1,470.8
総計		259.2	—	—	38,698.6	687.7	73.5	39,312.8	827.3	8,271.6	31,041.2	50,875.4

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 高速道路の収支率(試算値)

[単位:億円(消費税抜き)]

	料金収入(A)	費用			収支率 (D)/(A) ×100
		管理費(B)	金利(C)	計(D)= (B)+(C)	
全国路線網	22,574.7	6,114.9	2,960.3	9,075.3	40.2%
東日本高速道路(株)所管分	8,064.7	2,164.0	1,035.0	3,199.0	39.6%
中日本高速道路(株)所管分	6,555.6	1,748.4	867.7	2,616.2	39.9%
西日本高速道路(株)所管分	7,318.0	2,023.2	965.1	2,988.4	40.8%
本州四国連絡高速道路(株)所管分	636.3	179.1	92.3	271.5	42.6%
地域路線網					
首都高速道路	2,555.2	660.1	551.7	1,211.8	47.4%
阪神高速道路 (阪神圏)	1,680.7	400.6	389.6	790.3	47.0%
阪神高速道路 (京都圏)	42.6	16.8	15.9	32.7	76.8%
一の路線					
一般国道16号 (八王子バイパス)	12.9	5.5	0.0	5.5	42.5%
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠 道路))	7.3	6.8	0.1	6.9	94.0%
一般国道31号 (広島呉道路)	43.5	10.1	1.1	11.3	25.9%
一般国道165号及び一般国 道166号 (南阪奈道路)	22.5	4.8	0.1	5.0	22.2%
計	26,939.9	7,219.9	3,919.0	11,139.0	—

注1)「料金収入」は高速道路会社の料金収入、「管理費」は高速道路会社の管理費、

「金利」は高速道路機構の支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)全国路線網の西日本高速道路(株)所管分の料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-1【東日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)	
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	111	411.6	186.0	225.5	
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	60	169.3	85.9	83.3	
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道								
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道・東北自動車道	698	S47-H5	100	400	2,004.8	437.0	1,567.8	
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道・青森自動車道	97	S61-H15	100	11	45.3	28.2	17.0	
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道・秋田自動車道	134	H3-14	100	18	75.9	40.9	35.0	
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	25	83.1	40.0	43.0	
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	24	166.0	78.6	87.4	
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道・秋田自動車道	76	H13-21	100	30	56.2	34.1	22.0	
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	5	7.8	5.4	2.4	
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道・東京外環自動車道	246	S46-	96	206	929.1	224.3	704.7	
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	62	384.9	123.2	261.6	
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道・常磐自動車道	313	S56-H26	100	257	892.8	189.8	702.9	
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	77	133.8	33.7	100.0	
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道・東関東自動車道	87	S46-	78	198	461.4	85.3	376.0	
	高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	75	306.8	65.4	241.4	
	高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	7	89.6	24.6	64.9	
	高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	52	323.0	110.9	212.0	
	高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	6	4.9	2.2	2.7	
	高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11	S34-45	100	134	96.7	20.5	76.1
一般国道6号(東水戸道路)		東水戸道路	10	H8-11	100	15	13.8	5.6	8.1	
一般国道6号(仙台東部道路)		仙台東部道路	25	H5-13	100	68	86.3	17.3	68.9	
一般国道6号(仙台南部道路)		仙台南部道路	12	S55-H13	100	28	28.9	6.8	22.0	
一般国道7号(秋田外環状道路)		秋田自動車道	10	H9	100	6	7.0	3.1	3.9	
一般国道7号(琴丘能代道路)		秋田自動車道	17	H4-13	100	4	6.6	3.9	2.6	
一般国道13号(米沢南陽道路)		米沢南陽道路	9	H9	100	4	3.7	2.2	1.4	
一般国道13号(湯沢横手道路)		湯沢横手道路	15	H6-9	100	6	6.9	3.3	3.6	
一般国道14号(京葉道路)、一般国道16号(京葉道路)		京葉道路	37	S35-55	100	284	234.8	53.6	181.2	
一般国道16号(横浜横須賀道路)		横浜横須賀道路	37	S54-H20	100	104	214.8	50.0	164.7	
一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))		三陸自動車道(仙塩道路)	8	H8	100	41	25.1	5.3	19.7	
一般国道45号(百石道路)		百石道路	6	H6	100	5	2.4	1.6	0.8	
一般国道47号(仙台北部道路)		仙台北部道路	14	H14-H25	100	20	25.6	4.9	20.6	
一般国道126号(千葉東金道路)		千葉東金道路・圏央道	32	S53-H9	100	69	72.3	22.3	50.0	
一般国道127号(富津館山道路)		富津館山道路	19	H10-16	100	14	22.3	10.6	11.6	
一般国道233号(深川・留萌自動車道(深川沼田道路))		深川留萌自動車道	4	H10	100	2	0.9	1.7	△ 0.7	
一般国道235号(日高自動車道(苫東道路))		日高自動車道	4	H9	100	5	2.7	1.1	1.5	
一般国道409号(東京湾横断・木更津東金道路)		東京湾アクアライン・東京湾アクアライン連絡道	22	H7-9	100	92	193.3	57.9	135.3	
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)		圏央道	50	H18-25	100					
一般国道466号(第三京浜道路)		第三京浜道路	17	S39-40	100	148	85.3	25.2	60.1	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(横浜市から藤沢市まで及びあきる野市から山武市まで(あきる野ICを含む。))		圏央道	122	H7-	69	128	387.5	69.6	317.9	
総計			3,840	—	—	2,802	8,064.7	2,164.0	5,900.6	

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。
 注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。
 注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-2【中日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長 (km)	開通 年度	開通率 (%)	交通量 (千台/日)	料金収入 (A)	管理費 (B)	営業収支差 (A)-(B)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道・東京外環自動車道	94	S42-	94	177	424.4	114.5	309.8
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道・名神高速道路	360	S39-57	100	172	967.9	292.6	675.2
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	38	103.4	29.2	74.1
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	406	1,802.9	419.7	1,383.1
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	55	218.4	104.2	114.1
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	164	777.8	164.6	613.1
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	3	4.7	5.1	△ 0.4
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	106	560.8	213.4	347.4
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道・名古屋第二環状自動車道	69	S50-	85	34	136.6	36.3	100.2
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	265	576.1	146.9	429.1
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	57	159.1	31.9	127.1
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	5	22.2	9.1	13.1
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	2	18.3	9.8	8.4
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	45	31.7	10.8	20.9
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	43	31.4	13.7	17.7
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	16	29.7	9.7	20.0
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S38	100	69	72.7	26.3	46.4
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道	6.1	S59-H9	100	96	232.2	25.4	206.8
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中野田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道	44.0	H19-H26	100	87	256.4	48.3	208.0
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79.0	H16-	53	51	128.1	35.5	92.6
	計(全国路線網)		2,023	-	-	1,892	6,555.6	1,747.9	4,807.6
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	15	12.9	6.8	6.1
	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道 (安房峠道路)	5.6	H9	100	3	7.3	5.5	1.8
総計			2,033	-	-	1,910	6,575.9	1,760.2	4,815.7

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3 【西日本高速道路網】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	172	707.2	153.4	553.8
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道・近畿自動車道	56	S43-62	100	304	423.9	83.2	340.6
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	12	105.0	19.5	85.5
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	198	384.9	102.2	282.7
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	24	112.7	46.3	66.3
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	138	739.7	304.7	434.9
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	241	1,177.0	332.8	844.2
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52				
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道・米子自動車道	107	H元-8	100	9	75.5	31.2	44.2
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道・山陰自動車道	26	H12-14	100	15	35.1	13.9	21.2
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道・浜田自動車道	71	S59-H3	100	29	40.4	21.0	19.3
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	61	292.0	92.4	199.5
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道							
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道・高知自動車道・徳島自動車道	209	S62-	98	96	278.6	93.7	184.8
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	241	1,043.0	236.0	807.0
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	16	74.8	15.2	59.5
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道・大分自動車道	257	S57-H15	100	109	465.2	125.7	339.5
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	198	H11-	97	52	146.3	52.3	93.9
	高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	10	11.7	4.7	6.9
	高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	19	23.4	3.9	19.5
	高速自動車国道沖繩自動車道	沖繩自動車道	57	S50-62	100	98	138.6	42.8	95.8
	高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	81	165.8	28.4
一般国道1号(第二京阪道路)		第二京阪道路	28.3	H14-21	100	144	284.0	47.9	236.0
一般国道2号(第二神明道路)		第二神明道路	29.9	S44-H10	100	188	100.2	36.0	64.1
一般国道2号(広島岩国道路)		広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	46	61.8	11.8	50.0
一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))		南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	5	6.1	2.2	3.9
一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来〜鹿児島西))		南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	24	21.8	5.2	16.6
一般国道9号(安来道路)		山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	13	24.1	8.1	15.9
一般国道9号(江津道路)		山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	3	3.7	2.6	1.1
一般国道10号(椎田道路)		椎田道路	10.3	H2	100	13	15.6	2.9	12.7
一般国道10号(宇佐別府道路)		宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	12	24.8	7.3	17.5
一般国道10号(日出バイパス)		日出バイパス	9.0	H13	100	5	4.3	1.1	3.2
一般国道10号(延岡南道路)		延岡南道路	3.7	H元	100	11	9.4	1.9	7.4
一般国道10号(隼人道路)		隼人道路	7.3	H3	100	18	12.8	3.0	9.8
一般国道11号(高松東道路)		高松自動車道	15.6	H9-12	100	20	31.1	9.2	21.9
一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))		京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	44	39.1	14.1	25.0
一般国道34号(長崎バイパス)		長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	41	28.5	6.7	21.7
一般国道42号(湯浅御坊道路)		湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	23	39.0	11.4	27.5
一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))		今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	7	7.1	4.4	2.6
一般国道478号(京都縦貫自動車道)		京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	73	91.4	26.5	64.9
一般国道481号(関西国際空港連絡橋)		関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	11	30.2	5.0	25.1
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))		西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	23	27.7	6.3	21.3
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))		西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	29	12.5	4.2	8.3
計(全国路線網)			3,421	—		2,680	7,318.0	2,023.2	5,294.8

平成27年度(2015年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3【西日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	40	43.5	10.1	33.3
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	24	22.5	4.8	17.6
総計			3,449	-	-	2,743	7,384.2	2,038.3	5,345.8

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-4【本州四国連絡高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道以外	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	24	335.2	80.0	255.2
	一般国道30号(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	22	186.9	49.6	137.3
	一般国道317号(本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	7	114.0	49.5	64.5
総計			172.9	—	—	53	636.3	179.1	457.1

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)本州四国連絡高速道路㈱の交通量は県境断面交通量である。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-5【首都高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	310.7	S37-	94	968	2,555.2	660.1	1,895.0

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、首都高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6【阪神高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	249.1	S39-	95	712	1,680.7	400.6	1,280.0
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	33	42.6	16.8	25.8
計		259.2	—	—	745	1,723.3	417.4	1,305.9

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、阪神高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-1 【東日本高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	225.5	39.5	7,391.4	82.1
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道						1,391.5	15.4
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道	244	S46-	91	83.3	14.6	3,512.0	39.0
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	1,567.8	275.0	2,547.0	28.3
		東北自動車道						8,920.7	99.1
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	17.0	2.9	1,315.8	14.6
		青森自動車道						374.8	4.1
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	35.0	6.1	232.9	2.5
		秋田自動車道						1,966.0	21.8
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	43.0	7.5	2,779.2	30.8
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	87.4	15.3	4,518.0	50.2
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	22.0	3.8	2,190.1	24.3
		秋田自動車道						307.3	3.4
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	2.4	0.4	650.7	7.2
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	704.7	123.6	7,764.0	86.2
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	261.6	45.8	6,281.1	69.7
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	313	S56-H26	100	702.9	123.3	1,340.4	14.8
		常磐自動車道						6,989.5	77.6
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	100.0	17.5	1,410.3	15.6
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	376.0	65.9	442.0	4.9
東関東自動車道		2,921.3						32.4	
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	241.4	42.3	4,655.5	51.7	
高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	64.9	11.3	1,390.1	15.4	
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	212.0	37.2	5,552.1	61.6	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	2.7	0.4	40.3	0.4	

1-1 【東日本高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11	S34-49	100	76.1	13.3	1,104.9	12.2
	一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10	H8-11	100	8.1	1.4	27.4	0.3
	一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	25	H5-13	100	68.9	12.1	535.4	5.9
	一般国道6号(仙台南部道路)	仙台南部道路	12	S55-H13	100	22.0	3.8	154.0	1.7
	一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	10	H9	100	3.9	0.6	10.6	0.1
	一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17	H4-13	100	2.6	0.4	8.8	0.0
	一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	9	H9	100	1.4	0.2	14.4	0.1
	一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	15	H6-9	100	3.6	0.6	10.5	0.1
	一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	37	S35-55	100	181.2	31.7	2,491.2	27.6
	一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	37	S54-H20	100	164.7	28.8	3,362.2	37.3
	一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	8	H8	100	19.7	3.4	56.2	0.6
	一般国道45号(百石道路)	百石道路	6	H6	100	0.8	0.1	7.6	0.0
	一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	14	H14-H25	98	20.6	3.6	60.4	0.6
	一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32	S53-H9	100	50.0	8.7	539.0	5.9
	一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19	H10-16	100	11.6	2.0	24.4	0.2
	一般国道233号 (深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4	H10	100	△ 0.7	△ 0.1	4.0	0.0
	一般国道235号(日高自動車道 (苫東道路))	日高自動車道	4	H9	100	1.5	0.2	3.8	0.0
	一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン	22	H7-9	100	135.3	23.7	7,532.2	31.4
		東京湾アクアライン連絡道						506.5	5.6
	一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道 (東金JCT～木更津JCT)	50	H18-25	100			339.7	3.7
一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	17	S39-40	100	60.1	10.5	1,500.9	16.6	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (あきる野市から成田市まで(あきる野ICを含む。))	圏央道 (あきる野～大栄JCT)	122	H7-	69	317.9	55.7	2,668.5	29.6	
総計			3,840	—	—	5,900.6	1,035.0	97,848.7	1,035.0

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-2【中日本高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	309.8	55.9	6,190.6	58.0
	高速自動車国道中央自動車道西宮線(大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	675.2	121.8	5,421.3	50.8
		名神高速道路						1,643.3	15.4
	高速自動車国道中央自動車道長野線(岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	74.1	13.3	885.7	8.3
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	1,383.1	249.6	15,552.5	145.9
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	114.1	20.6	7,749.9	72.7
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	613.1	110.6	30,108.1	282.4
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	△ 0.4	0.0	591.3	5.5
	高速自動車国道北陸自動車道(富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	347.4	62.7	5,209.8	48.8
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	100.2	18.0	1,310.5	12.2
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	429.1	77.4	5,476.6	51.3
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	127.1	22.9	4,411.9	41.3
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	13.1	2.3	1,001.6	9.3
高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	8.4	1.5	1,276.1	11.9	
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	9	S62-	61	20.9	3.7	326.2	3.0
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	15	S45-46	100	17.7	3.2	622.2	5.8
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18	S61-63	100	20.0	3.6	230.6	2.1
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	32	S38	100	46.4	8.3	695.8	6.5
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6	S59-H9	100	206.8	37.3	1,759.1	16.5
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道(茅ヶ崎JCT~寒川北、海老名北~あきる野)	44	H19-	100	208.0	37.5	1,315.1	12.3
	一般国道475号(東海環状自動車道)(豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79	H16-	53	92.6	16.7	719.8	6.7
計(全国路線網)			2,023	—	—	4,807.6	867.7	92,499.1	867.7

1-2【中日本高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	6.1	0.0	0.0	0.0
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	1.8	0.1	11.5	0.1
総計			2,033	—	—	4,815.7	867.9	92,510.6	867.9

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	553.8	100.9	7,324.4	74.4
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道	56	S43-62	100	340.6	62.0	1,315.7	13.3
	近畿自動車道	2,924.9						29.7	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	85.5	15.5	2,359.9	23.9
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	282.7	51.5	4,121.8	41.8
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	66.3	12.0	2,688.4	27.3
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	434.9	79.2	8,848.2	89.9
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	844.2	153.8	14,599.8	148.3
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道						13	H14-
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道	107	H元-8	100	44.2	8.0	1,146.0	11.6
	米子自動車道	1,596.4						16.2	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道	26	H12-14	100	21.2	3.8	278.6	2.8
	山陰自動車道	874.1						8.8	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道	71	S59-H3	100	19.3	3.5	451.2	4.5
	浜田自動車道	697.0						7.0	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	199.5	36.3	2,883.7	29.3
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道						3,991.9	40.5
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道	209	S62-	98	184.8	33.6	3,127.6	31.7
	高知自動車道	3,535.9						35.9	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	807.0	147.1	7,648.7	77.7
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	59.5	10.8	877.3	8.9
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道	257	S57-H15	100	339.5	61.8	3,083.9	31.3
大分自動車道	3,777.4	38.3							
高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	198	H11-	97	93.9	17.1	5,349.0	54.3	
高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	6.9	1.2	553.7	5.6	
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	19.5	3.5	375.7	3.8	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	95.8	17.4	1,323.8	13.4	

平成27年度(2015年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	137.3	25.0	1,416.0	14.3
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	236.0	43.0	2,086.2	21.2
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	64.1	11.6	1,415.8	14.3
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	50.0	9.1	704.2	7.1
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	3.9	0.7	7.7	0.0
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	16.6	3.0	16.4	0.1
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	15.9	2.9	15.0	0.1
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	1.1	0.2	14.9	0.1
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	12.7	2.3	184.3	1.8
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	17.5	3.1	135.3	1.3
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	3.2	0.5	7.2	0.0
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	7.4	1.3	64.4	0.6
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	9.8	1.7	97.2	0.9
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	21.9	4.0	38.9	0.3
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	25.0	4.5	511.6	5.1
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	21.7	3.9	341.8	3.4
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	27.5	5.0	99.9	1.0
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	2.6	0.4	8.8	0.0
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	64.9	11.8	1,042.7	10.5
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	25.1	4.5	300.7	3.0
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	21.3	3.8	341.7	3.4	
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	8.3	1.5	10.8	0.1	
計(全国路線網)			3,421	—	—	5,294.8	965.1	94,977.8	965.1

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	33.3	1.1	486.4	1.1
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	17.6	0.1	170.5	0.1
総計			3,449	—	—	5,345.8	966.4	95,634.9	966.4

- 注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-4 【本州四国連絡高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	255.2	51.5	11,938.0	47.6
	一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	137.3	27.7	5,395.0	21.5
	一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	64.5	13.0	5,833.1	23.2
計			172.9	—	—	457.1	92.3	23,166.2	92.3

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)路線ごとの「金利」は、本四高速道路の負担金利額をそれぞれ営業収支差、資産価額により按分して配賦したものである。

注3)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注4)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【首都高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
都道首都高速1号線 等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線 等	310.7	S37-	94	1,895.0	551.7	55,924.0	551.7

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【阪神高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
大阪府道高速大阪池田線 等	1号環状線・11号池田線 等	249.1	S39-	95	1,280.0	389.6	29,778.7	389.6
京都市道高速道路1号線 等	新十条通 等	10.1	H19-H22	100	25.8	15.9	1,262.5	15.9
計		259.2	—	—	1,305.9	405.5	31,041.2	405.5

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成27年度(2015年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。
 平成27年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、現地状況に合わせた工法の見直し、地元・関係機関等との協議による見直し、工事数量等の確定(精算)によるものです。
 平成27年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が平成28年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が平成28年度以降計画的に実施されること、修繕事業や特定更新等工事では工事発注の見直し等で機構への帰属を平成28年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに、料金徴収期間満了までに必要となる額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成26年度まで(B)	平成27年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
東日本高速道路	北海道横断自動車道黒松内釧路線夕張IC~占冠IC新設事業	134,663	129,104	4,813	133,918	△ 744	・工事等数量の確定等による減
	常磐自動車道新地IC~山元IC新設事業	47,368	30,861	7,544	38,406	△ 8,961	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、財産整理等に要した費用。
	東関東自動車道水戸線松戸IC~高谷JCT新設事業	721,590	1,230	6,109	7,340	△ 714,249	・差額は、松戸IC~高谷JCT間等の工事に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、道路管制センターの供用に要した費用。
	北関東自動車道足利IC~岩舟JCT新設事業	67,084	56,245	4,889	61,135	△ 5,948	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、付加車線供用に要した費用。
	東北縦貫自動車道弘前線久喜白岡JCT新設事業	12,486	6,293	3,805	10,098	△ 2,387	・用地単価の見直しによる減
	東北縦貫自動車道弘前線久喜白岡JCT改築事業	10,860	4,316	1,641	5,957	△ 4,902	・橋梁構造の変更による減
	東北縦貫自動車道弘前線小坂JCT新設事業	6,907	6,377	223	6,600	△ 306	・工事等数量の確定等による減
	日本海沿岸東北自動車道豊栄SA改築事業	704	0	341	341	△ 362	・差額は、工事等数量の確定等による減 ・平成27年度の債務引受額は、SA改築に要した費用。
	常磐自動車道ならばPA新設事業	2,012	1,816	103	1,919	△ 92	・工事等数量の確定等による減
	常磐自動車道南相馬鹿島SA新設事業	1,408	1,207	91	1,299	△ 108	・工事等数量の確定等による減
	東関東自動車道水戸線大栄JCT新設事業	4,880	0	3,695	3,695	△ 1,184	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、JCT新設に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)桶川北本IC~白岡菟川IC新設事業	72,701	805	61,205	62,011	△ 10,689	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	一般国道469号(東京湾横断・木更津東金道路)茂原長南IC~木更津東IC新設事業	14,955	10,224	1,850	12,075	△ 2,879	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、高滝湖PA(外)新設及び付帯工事等に要した費用。
	一般国道47号(仙台北部道路)利府JCT改築事業	2,178	0	1,399	1,399	△ 778	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、付加車線供用に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)久喜白岡JCT新設事業	14,628	5,760	70	5,831	△ 8,796	・橋梁構造の変更による減
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)江戸崎PA新設事業	1,278	1,189	47	1,236	△ 41	・工事等数量の確定等による減
	東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	41,370	12,566	5,300	17,867	△ 23,502	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、4箇所の供用及び1箇所の本完了に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)久喜白岡JCT~五霞IC新設事業	26,726	20,396	306	20,703	△ 6,022	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、五霞IC料金所レーン新設に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)稲敷IC~大栄JCT新設事業	20,607	8,108	5,813	13,921	△ 6,685	・差額は、付加車線工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、神崎IC~大栄JCT間供用に要した費用。
	一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))仙台港北IC~利府中IC改築事業	3,208	0	2,706	2,706	△ 501	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、4車線化及び多賀城IC新設に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等平成27年度修繕事業	123,123	—	95,856	95,856	△ 27,266	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。	
北海道縦貫自動車道函館名寄線等災害復旧事業	163,771	104,326	1,908	106,235	△ 57,536	・差額は、平成28年度以降の災害対応に要する費用。	
北海道縦貫自動車道函館名寄線等平成27年度特定更新等工事	10,193	—	496	496	△ 9,696	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。	

注1)平成27年度(2015年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成27年度に完了している新設・改築事業である。
 注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。
 注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成27年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成26年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成26年度 まで (B)	平成27年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道敦賀線 小浜IC～敦賀JCT新設事業	179,178	152,767	389	153,157	△ 26,020	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、道路管制センターに要した費用。
	北陸自動車道 福井北JCT・IC新設事業	3,067	1,029	503	1,532	△ 1,534	・関係機関との協議により、用地買収が不要になったこと等による減
	一般国道271号(小田原厚木道路) 小田原西IC改築事業	77	62	7	69	△ 7	・工事等数量の確定等による減。
	中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	64,272	8,361	3,850	12,211	△ 52,060	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・H27年度の債務引受額は、2箇所の供用及び2箇所の本完 了に要した費用。
	第二東海自動車道横浜名古屋線 浜松いなさJCT～豊田東JCT新設事業	639,325	0	523,773	523,773	△ 115,551	・差額は、財産整理及び重金属処理等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 豊田東JCT改築事業	421	0	173	173	△ 247	・差額は、他事業との調整による減及び交通安全対策等の残事 業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、JCT改築に要した費用。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 美濃関JCT改築事業	674	0	446	446	△ 227	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、付加車線供用に要した費用。
	中央自動車道富士吉田線等 平成27年度修繕事業	107,725	—	106,064	106,064	△ 1,660	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	81,557	18,654	542	19,197	△ 62,359	・差額は、平成28年度以降の災害対応に要する費用。
	中央自動車道富士吉田線等 平成27年度特定更新等工事	1,146	—	955	955	△ 190	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成27年度修繕事業	137	—	117	117	△ 19	・工事等数量の確定等による減。
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路)) 平成27年度修繕事業	674	—	102	102	△ 571	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用。
西 日 本 高 速 道 路 網	東九州自動車道 日向IC～都農IC新設事業	60,445	53,927	4,449	58,376	△ 2,068	・事業損失補償内容の見直し等による減
	中央自動車道西宮線 栗東湖南IC改築事業	2,194	0	943	943	△ 1,250	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成27年度の債務引受額は、IC供用に要した費用
	近畿自動車道天理吹田線 守口JCT新設事業	14,789	11,546	243	11,789	△ 2,999	・関係機関との協議により国道復旧工事を見直したこと等による 減
	近畿自動車道松原那智勝浦線 南紀田辺IC新設事業	2,129	0	2,029	2,029	△ 99	・差額は、工事等数量の確定等による減 ・平成27年度の債務引受額は、新直轄区間との接続に要した 費用
	近畿自動車道松原那智勝浦線 芳養地区付加車線新設事業	1,286	0	1,022	1,022	△ 263	・差額は、工事等数量の確定等による減 ・平成27年度の債務引受額は、付加車線供用に要した費用
	近畿自動車道敦賀線 小浜IC改築事業	2,227	1,423	89	1,512	△ 714	・軟弱地盤対策工の見直しによる減
	中国縦貫自動車道 三次JCT改築事業	3,596	3,316	153	3,470	△ 125	・工事等数量の確定等による減
	中国縦貫自動車道 小郡JCT改築事業	1,543	0	945	945	△ 597	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成27年度の債務引受額は、JCT供用に要した費用
	九州縦貫自動車道 嘉島JCT新設事業	7,739	6,130	1,124	7,255	△ 483	・工事等数量の確定等による減
	東九州自動車道 佐伯IC改築事業	1,582	916	10	926	△ 655	・料金所配置計画の見直しによる減
	一般国道478号(京都縦貫自動車道) 沓掛IC～大山崎IC・JCT新設事業	56,639	49,989	6,207	56,196	△ 442	・工事等数量の確定等による減
	中国縦貫自動車道 勝央JCT新設事業	876	0	848	848	△ 27	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成27年度の債務引受額は、JCT新設に要した費用
	一般国道478号(京都縦貫自動車道) 丹波IC改築事業	3,209	84	2,932	3,016	△ 192	・工事等数量の確定等による減
	西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	35,034	9,149	2,920	12,069	△ 22,964	・差額は施工中のスマートICに要する費用 ・平成27年度の債務引受額は、1箇所の供用及び3箇所の本 完了に要した費用
	中央自動車道西宮線等 平成27年度修繕事業	91,120	—	68,932	68,932	△ 22,187	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用。
	中央自動車道西宮線等 平成27年度特定更新等工事	11,458	—	104	104	△ 11,353	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用。

注1)平成27年度(2015年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、 は、平成27年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成27年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成26年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成26年度 まで (B)	平成27年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
西日本 高速道路 路線	中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	73,941	8,289	1,397	9,686	△ 64,254	・差額は、平成28年度以降の災害対応に要する費用。
	一般国道31号(広島呉道路) 平成27年度修繕事業	3,184	—	167	167	△ 3,017	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路) 平成27年度修繕事業	112	—	28	28	△ 84	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
本州 四国 連絡 高速 道路	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 平成27年度修繕事業	13,343	—	12,180	12,180	△ 1,162	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 平成27年度特定更新等工事	174	—	96	96	△ 77	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
首都 高速 道路 路線	都道首都高速目黒板橋線 大橋JCT～西新宿JCT新設事業	274,117	272,606	785	273,392	△ 725	・工事等数量の確定等による減。
	横浜道高速横浜環状北線 港北JCT～生麦JCT新設事業	407,610	6,219	10,011	16,230	△ 391,379	・差額は、本線工事に要する費用。 ・平成27年度の債務引受額は、港北IC(上り)出口の切替に要した費用。
	首都高速道路 東京地区改築事業	120,638	117,758	119	117,877	△ 2,760	・差額は、工事等数量の確定等による。
	都道首都高速1号線等 平成27年度修繕事業	54,347	—	23,284	23,284	△ 31,062	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	都道首都高速1号線等 平成27年度特定更新等工事	36,595	—	1,924	1,924	△ 34,670	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	大阪市道高速道路淀川左岸線 島屋出入口～海老江JCT新設事業	139,611	101,246	37,690	138,936	△ 673	・工事等数量の確定等による減。
阪神 高速 道路 路線	大阪府道高速大阪池田線等 平成27年度修繕事業	41,728	—	38,550	38,550	△ 3,177	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	大阪府道高速大阪池田線等 平成27年度特定更新等工事	9,130	—	413	413	△ 8,716	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用。
	大阪府道高速大阪池田線等 災害復旧事業	5,792	0	46	46	△ 5,745	・差額は、平成28年度以降の災害対応に要する費用。
	京都市道高速道路1号線等 平成27年度修繕事業	170	—	144	144	△ 25	・工事等数量の確定等による減。

注1) 平成27年度(2015年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めずべて記載している。なお、 は、平成27年度に完了している新設・改築事業である。

注2) 繰越処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成27年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成26年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。(京都市道高速道路1号線等平成27年度修繕事業を除く)

平成27年度(2015年度) 管理コストの計画と実績(高速道路会社情報の総括)

【管理コスト】

[単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)/(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路㈱	1,756	1,768	△ 12	99.3%	1,775	一般管理費等の減
中日本高速道路㈱	1,383	1,348	35	102.6%	1,351	維持修繕費の増
西日本高速道路㈱	1,637	1,584	53	103.3%	1,569	維持修繕費の増
本州四国連絡高速道路㈱	162	159	3	101.9%	159	維持修繕費及び管理業務費の増
首都高速道路㈱	660	696	△ 36	94.8%	613	管理業務費及び一般管理費等の減
阪神高速道路㈱	417	435	△ 18	95.9%	389	管理業務費及び一般管理費等の減

注1)実績(A)及び計画(B)は、下記参考のうち、①維持修繕費、「②管理業務費」、「③一般管理費等」を合計したものである。

注2)ETCマイレージ割引費用等は含まれていない。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

①維持修繕費 [単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)/(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路㈱	775	738	37	105.0%	793	労務単価の上昇による増等
中日本高速道路㈱	672	554	118	121.3%	639	点検結果等に基づく補修の増、及び労務単価の上昇等
西日本高速道路㈱	772	667	105	115.7%	692	点検結果等に基づく補修の増、及び労務単価の上昇等
本州四国連絡高速道路㈱	54	46	8	117.4%	50	点検結果等に基づく補修の増、及び労務単価の上昇等
首都高速道路㈱	306	304	2	100.7%	262	労務単価の上昇による増等
阪神高速道路㈱	179	174	5	102.9%	157	点検結果等に基づく補修の増、及び労務単価の上昇等

②管理業務費 [単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)/(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路㈱	555	530	25	104.7%	544	クレジットカード手数料の増等
中日本高速道路㈱	378	361	17	104.7%	371	クレジットカード手数料の増等
西日本高速道路㈱	492	475	17	103.6%	489	クレジットカード手数料の増等
本州四国連絡高速道路㈱	45	41	4	109.8%	42	クレジットカード手数料の増等
首都高速道路㈱	198	202	△ 4	98.0%	190	クレジットカード手数料の減等
阪神高速道路㈱	125	134	△ 9	93.3%	123	クレジットカード手数料の減等

③一般管理費等 [単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)/(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路㈱	425	499	△ 74	85.2%	437	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
中日本高速道路㈱	332	433	△ 101	76.7%	339	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
西日本高速道路㈱	373	442	△ 69	84.4%	386	事務費の減等
本州四国連絡高速道路㈱	63	72	△ 9	87.5%	66	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
首都高速道路㈱	154	190	△ 36	81.1%	160	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
阪神高速道路㈱	111	128	△ 17	86.7%	108	ETC広報費用の減等

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【利用者視点】

会社	指標 総合顧客満足度(単位:ポイント)			コメント
	CS調査等で把握するお客様の満足度[5段階評価] (下段の()内は中期目標※)			
	26年度実績	27年度計画	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	3.5ポイント	3.5ポイント (3.7ポイント)	3.6ポイント	快適な路面を保つための舗装補修、休憩施設のお手洗い改修及び各種交通安全対策等を継続的に取り組んだことにより目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	3.5ポイント	3.6ポイント (3.6ポイント)	3.6ポイント	快適な路面を保つための舗装補修、付加車線設置等の渋滞対策、休憩施設のお手洗い美化、休憩施設でのFree Wi-Fiの推進などの施策を実施し、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	3.5ポイント	3.5ポイント (3.5ポイント)	3.6ポイント	快適な路面を保つための舗装補修、休憩施設のお手洗い改装及び各種交通安全対策等、継続的に取り組み、総合顧客満足度の向上に努め目標を達成した。
本州四国連絡 高速道路㈱	4.0ポイント	4.0ポイント (—)	4.0ポイント	走行安全性を保つための逆走・誤進入防止対策、SA・PA施設のリニューアル、レストランの地産地消メニューの導入、繁忙期のトイレ清掃回数増、渋滞回避を促す広域図形情報板の改良等を実施したことにより目標を達成した。
首都 高速道路㈱	3.4ポイント	3.4ポイント (3.5ポイント)	3.5ポイント	中央環状線全線開通に伴い「車の流れ」、「快適性」の実感が向上したこと、カラー舗装や注意喚起板等の「安全性」の取組が理解されたことにより、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	3.6ポイント	3.7ポイント (3.7ポイント)	3.6ポイント	お客さまのご要望に対し道路案内標識の表示改善やPA施設の改良を行ったり、渋滞対策として、サグ渋滞箇所への速度回復誘導灯の設置等を実施したが、目標を達成できなかった。

※ 中期目標の年次は、東日本高速道路㈱28年度、中日本高速道路㈱29年度、西日本高速道路㈱27年度、首都高速道路㈱29年度、阪神高速道路㈱28年度

会社	指標 年間利用台数(単位:百万台)		コメント
	支払料金所における年間の通行台数		
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	998百万台	1,026百万台	地域の特性にあった各種企画割引の実施等の高速道路の利用促進のための取組みや、常磐道の全線開通や圏央道の新規供用の効果により利用台数は増加した。
中日本 高速道路㈱	670百万台	692百万台	圏央道や新東名高速道路の開通効果等により、利用台数は増加した。
西日本 高速道路㈱	957百万台	981百万台	各種企画割引の取組み等の高速道路の利用促進に努めたこと等により利用台数は増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	40.3百万台	41.9百万台	関係自治体と連携した各種イベントへの参画や観光情報の発信によるPR、大浜PAのリニューアル等の利用促進を実施。また、平成26年4月より「新たな料金制度」が導入され、特に海峽部での使いやすい料金が定着したことなどにより利用台数は増加した。
首都 高速道路㈱	344百万台	354百万台	全線開通した中央環状線の開通効果等により、利用台数は増加した。
阪神 高速道路㈱	268百万台	273百万台	平成26年度の消費税増税の反動やガソリン価格高騰、天候不順等による影響が減少したことなどにより利用台数は増加した。

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会社	指標 本線渋滞損失時間(単位:万台・時)		コメント
	渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間		
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	662万台・時	618万台・時	付加車線の設置やLED表示板での速度回復情報提供によるサグ部等の渋滞緩和対策の実施に加え、平成27年3月の常磐道全線開通効果による東北道の渋滞緩和により、本線渋滞損失時間が減少した。
中日本 高速道路㈱	1,238万台・時	1,057万台・時	圏央道 海老名JCTにおける暫定2車線ランプの運用、中央道調布地区における暫定付加車線の運用などの実施による交通集中渋滞減少により本線渋滞損失時間が減少した。
西日本 高速道路㈱	475万台・時	526万台・時	車線規制を伴う工事(舗装補修工事、構造物補修等)等の増加の影響などにより、本線渋滞損失時間が増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	4万台・時	4万台・時	繁忙期間の渋滞予測情報の提供やサグ部渋滞箇所への速度低下注意喚起標識の設置、広域図形情報板の改良等により、交通量が増加したなか、前年度と同じ結果となった。
首都 高速道路㈱	2,320万台・時	2,190万台・時	中央環状線全線開通に伴い新たな需要が喚起されたため交通量が増加したがネットワーク整備効果と、「首都高 快適走行ビジョン」に基づき実施している渋滞対策の効果により、渋滞損失時間が減少した。
阪神 高速道路㈱	800万台・時	919万台・時	渋滞発生確率情報の提供等情報提供面での対策、交通安全対策、サグ部における速度低下抑制を目的とした速度回復誘導灯の設置、個別箇所の渋滞対策等、渋滞削減に向けた取り組みを実施したものの、交通量の増加の影響もあり、本線渋滞損失時間は増加した。

※ 東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱の数値は、1/1～12/31間の年間値。

会社	指標 路上工事時間(単位:時間/km)		コメント
	道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間(中段の<>内は集中工事時間を除く時間※、下段の<>内は工事渋滞損失時間(単位:万台・時))		
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	77時間/km (77時間/km) <23万台・時>	83時間/km (83時間/km) <16万台・時>	工事規制の統合を考慮した発注計画の立案や工事工程の調整等により車線規制件数の削減に努めたが、橋梁等各種補修工事の増加等に伴い、路上工事時間は増加した。なお、渋滞が発生しない規制時間帯での工事の実施等の工夫を行った結果、工事渋滞損失時間については減少した。
中日本 高速道路㈱	94時間/km (83時間/km) <225万台・時>	118時間/km (113時間/km) <188万台・時>	車線規制時間を削減するために、工事の集約化や規制時間帯を厳選した車線規制計画により工事を実施したが、安全性向上3カ年計画の最終年度でもあることから、工事増加により、路上工事時間が増加した。なお、渋滞が発生しない規制時間帯での工事の実施等の工夫を行った結果、工事渋滞損失時間については減少した。
西日本 高速道路㈱	104時間/km (96時間/km) <39万台・時>	105時間/km (90時間/km) <62万台・時>	複数工事の規制集約化などの時間削減への取り組みを実施したが、車線規制を伴う工事(舗装補修工事、構造物補修等)が前年度に比べ増加したため、路上工事時間は増加した。また、前年度に比べ交通量の多い路線(区間)において工事を行ったため、工事渋滞損失時間は増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	107時間/km (107時間/km) <->	115時間/km (115時間/km) <->	複数工事の規制を集約するなど、規制時間及び回数の削減に努めたが、橋梁補修工事とトンネル照明設備更新工事の規制時間が前年度に比べ増加したため、路上工事時間が増加した。
首都 高速道路㈱	234時間/km (230時間/km) <->	214時間/km (212時間/km) <->	補修工事が増加する一方で、同一作業帯内での複数工事を実施する工事調整を更に進めたこと、また、昼夜連続した集中工事を実施したことにより、路上工事時間が減少した。
阪神 高速道路㈱	144時間/km (107時間/km) <26万台・時>	170時間/km (147時間/km) <24万台・時>	フレッシュアップ工事による工事の集約化、工事間調整による規制回数の削減(合同規制工事 約1,100件/全規制工事 約9,600件)等を実施したものの、トンネル照明設備の補修工事等が前年度に比べ増加したため路上工事時間は増加したが、交通量が少ない路線(区間)で工事を行ったため工事渋滞損失時間については減少した。

※ 「集中工事時間を除く時間」とは、区間・期間を事前に広報した上で行う集中工事(震災復旧工事を含む)等を除いた交通規制時間

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会社	指標 通行止め時間(単位:時間) 雨、雪、事故、工事等に伴う年間の平均通行止め時間					コメント		
	26年度実績	主な要因		27年度実績	主な要因			
東日本 高速道路㈱	34時間	災害・悪天候 13	事故・その他 5	30時間	災害・悪天候 6	事故・その他 4	工事 20	工事に伴う通行止め時間が増加したものの、「災害・悪天候」のうち、特に雪による通行止めが大幅に減少したことにより、通行止め時間が減少した。
中日本 高速道路㈱	23時間	災害・悪天候 12	事故・その他 3	22時間	災害・悪天候 6	事故・その他 1	工事 15	安全性向上3ヶ年計画の推進による工事通行止めにより、工事通行止めが増加したものの、「災害・悪天候」のうち、特に雪による通行止めが大幅に減少したことにより、通行止め時間が減少した。
西日本 高速道路㈱	38時間	災害・悪天候 16	事故・その他 2	59時間	災害・悪天候 33	事故・その他 2	工事 24	平成28年1月の大雪に伴い、災害・悪天候により、通行止め時間が増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	18時間	災害・悪天候 16	事故・その他 1	13時間	災害・悪天候 12	事故・その他 1	工事 0	台風等による降雨通行止めの区間が短く、かつ長時間に至らなかったことから、通行止め時間は減少した。
首都 高速道路㈱	9時間	災害・悪天候 1	事故・その他 6	5時間	災害・悪天候 2	事故・その他 1	工事 2	事故・その他による通行止めが減少し、通行止め時間が減少した。
阪神 高速道路㈱	20時間	災害・悪天候 6	事故・その他 1	25時間	災害・悪天候 4	事故・その他 0	工事 21	災害・悪天候、事故・その他による通行止め時間は減少したものの、フレッシュアップ工事(通行止工事)を含む工事等により、通行止め時間は増加した。

※ 上下線別の通行止め時間に距離を乗じた年間のべ時間・距離を営業延長で除算したもの

【交通安全】

会社	指標 死傷事故率(単位:件/億台キロ)			コメント
	自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数※1 (下段の()内は中期目標※2)			
	26年度実績	27年度計画	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	5.1件/億台キロ	5.1件/億台キロ (6.7件/億台キロ)	4.9件/億台キロ	車線逸脱防止のための凹凸路面標示や自発光視線誘導標等による冬期の事故対策を実施したことに加え、本線渋滞が減少し、渋滞中の死傷事故件数が減少したことなどにより、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	7.1件/億台キロ	6.7件/億台キロ (6.7件/億台キロ)	6.7件/億台キロ	車線逸脱防止のための凹凸路面標示や防護柵の改良、雨天時の走行環境の改善のための高機能舗装化を実施したことにより、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	7.7件/億台キロ	7.4件/億台キロ (7.4件/億台キロ)	7.6件/億台キロ	事故多発箇所等において薄層舗装や凹凸路面標示、注意喚起標識等の交通安全対策を実施したことにより死傷事故件数の削減が図られ、前年に比べて減少したが、目標は達成出来なかった。
本州四国連絡 高速道路㈱	4.8件/億台キロ	5.7件/億台キロ (—)	5.0件/億台キロ	走行性の改善を図るため舗装改良に努めたこと、路上落下物の通報の増加に伴う道路情報板への掲出や交通管理隊による落下物処理、車両制限令取締隊による積載不良車両への是正指導等、交通事故予防に努め、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	16.5件/億台キロ	16.0件/億台キロ (15.0件/億台キロ)	14.3件/億台キロ	事故多発地点において、事故の要因分析を行った上で効果的な安全対策を立案し、追突や合流の注意を促す看板の設置、カーブ区間に注意喚起カラー舗装を舗装するなど安全対策を行ったことにより、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	22件/億台キロ	21.9件/億台キロ (—)	21.8件/億台キロ	フレッシュアップ工事によるカーブ区間の安全対策(交通安全施設、滑り止め舗装等)により、目標を達成した。

※1 数値は、1/1～12/31間の年間値

※2 中期目標の年次は、東日本高速道路㈱28年度、中日本高速道路㈱29年度、西日本高速道路㈱27年度、首都高速道路㈱29年度

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会社	指標 車限令違反車両取締台数(単位:台)		コメント
	高速道路上で実施した車限令違反車両取締における引き込み台数		
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	12,958台	13,163台	警察や運輸局等の関係機関との合同取締、軸重計データを活用した効果的な取締箇所の選定などの取組みにより、引き込み台数は増加した。取締り回数は平成26年度に1,528回、平成27年度は1,532回実施した。
中日本 高速道路㈱	13,990台	17,018台	車限隊の増員による体制強化やコードンラインによる国道事務所と連携した取締りの強化により、引き込み台数は増加した。取締り回数は平成26年度に1,002回、平成27年度は1,003回実施した。
西日本 高速道路㈱	8,012台	7,233台	他の道路管理者や警察等と連携した取締を主に休憩施設で実施していたが、高速道路への流入阻止を図るべく、IC入口での取締に重点を置いた結果、引き込み対象が減少した。取締り回数は平成26年度に1,792回、平成27年度は1,671回実施した。
本州四国連絡 高速道路㈱	223台	991台	平成27年度に車両制限令取締隊を設置し、車限令違反車両の取締回数は大幅に増加した。また、重量計の改良や軸重計の増設を行うとともに、悪質な違反者に対する指導警告書の送付や警察等関係機関への情報提供を実施した。取締り回数は平成26年度に20回、平成27年度は99回実施した。
首都 高速道路㈱	1,256台	1,030台	国道との同時取締を含む現場取締のほか、反復違反者・悪質違反者への是正指導、違反者講習会等を実施した結果、引き込み対象が減少した。取締り回数は平成26年度に694回、平成27年度は708回実施した。
阪神 高速道路㈱	1,297台	1,217台	警察や西日本高速道路(株)との連携取締り等、法令違反取締り強化のほか、違反者講習会の開催、関係各機関と連携した啓発活動等を実施した結果、引き込み対象が減少した。取締り回数は平成26年度に2,847回、平成27年度は2,801回実施した。

会社	指標 逆走事案件数(単位:件)		コメント
	交通事故又は車両確保に至った逆走事案件数※		
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	67件	74件	IC・休憩施設等における大型矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上等の逆走事案件削減の取組みを実施し逆走事案件の削減を図ったが、前年より件数は増加した。
中日本 高速道路㈱	37件	47件	IC、休憩施設等における大型矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上、合流部におけるラバーポール設置によるUターン防止対策の強化、SA・PAでの注意喚起などの逆走対策を実施し、逆走事案件の削減を図ったが前年より件数は増加した。
西日本 高速道路㈱	81件	99件	IC・休憩施設等においてラバーポールの設置や大型矢印路面標示等の対策を実施しているが高齢者等の逆走事案件が増加しており、前年より件数は増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	6件	6件	IC・休憩施設等において高輝度矢印板の設置を実施し逆走事案件の削減を図ったが、前年と同じ件数となった。なお、過年度までに対策を実施した箇所においては、その後逆走事案件は発生していない。
首都 高速道路㈱	2件	11件	注意喚起を促すチラシの配布等によるソフト対策に加え、出口では、大型注意喚起看板や横断幕、路面文字等を実施した。入口やJCT合流部では、高輝度矢印板やラバーポール設置等のハード対策を平成27年度より本格的に開始したが、逆走事案件数は前年より増加した。
阪神 高速道路㈱	5件	5件	出口・入口部における注意喚起看板、路面標示や高欄側面矢印の設置等を行ったが、前年と同じ件数となった。

※ 数値は、1/1～12/31間の年間値

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会社	指標 人等の立入事案件数(単位:件) 歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入った事案件数		コメント
	26年度実績	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	1,686件	1,753件	HP等での注意喚起、高速道路出入口部に進入禁止看板や路面標示等の対策を実施したが、前年度より件数は増加した。
中日本 高速道路㈱	1,274件	1,297件	立入発生箇所において、注意喚起看板やラバーポールによる物理的進入対策を実施したが、前年度より件数は増加した。
西日本 高速道路㈱	1,177件	1,348件	IC・料金所等において立入禁止看板や路面標示等の対策を実施したが、前年度より件数は増加した。
本州四国連絡 高速道路㈱	189件	183件	立入発生件数の多い施設への注意標識設置、改良等による誤進入防止や、バス運行会社への、バス停降車時の間違いによる本線立入り防止の啓発活動の協力依頼を実施したが、前年度とほぼ同等の件数となった。
首都 高速道路㈱	426件	440件	大型注意喚起看板や横断幕、路面文字等のハード対策を行った結果、歩行者の立入は減少したものの、原付の立入は増えたことから、全体の件数は前年度より増加した。
阪神 高速道路㈱	318件	307件	出口・入口部における注意喚起看板や路面標示の設置等、過年度からの着実な誤進入対策の取り組みが効果を上げ、前年度より件数は減少した。

【道路保全】

会社	指標 快適走行路面率(単位:%) 快適に走行できる舗装路面の車線延長			コメント
	26年度実績	27年度計画	27年度実績	
東日本 高速道路㈱	97%	97%	97%	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査や現地調査等に基づき、約502km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	96%	95%	96%	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査・日常点検等の結果に基づき、約203km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	96%	97%	97%	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査・点検結果を踏まえ、約200km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。
本州四国連絡 高速道路㈱	93%	90%	92%	路面のわだち掘れやひび割れ等を調査・点検結果を踏まえ、損傷状況に応じた舗装補修を約11km・車線実施し、目標を達成した。
首都 高速道路㈱	97%	97%	97%	高速上の巡回点検、舗装点検車による機器点検により、舗装路面状況を適切に把握し、要補修箇所については、保全情報管理システムを活用して、優先順位をつけ計画的に舗装補修を約59km・車線実施したことにより、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	96%	96%	97%	3号神戸線、5号湾岸線におけるフレッシュアップ工事や4号湾岸線、13号東大阪線、14号松原線などにおける車線規制工事による舗装補修を約35km・車線実施し、目標を達成した。

平成27年度(2015年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会社	指標 要補修橋梁数(単位:橋)				コメント
	H26からH27に点検した橋梁の健全性区分Ⅲ・Ⅳの橋数(中段の[]内は健全性区分Ⅳの橋数、下段の()内は 点検橋数 / 全対象橋数)				
	26年度実績	うち径間数	27年度実績	うち径間数	
東日本 高速道路㈱	87橋 [0橋] (968橋/8,389橋)	—	154橋 [0橋] (2,340橋/8,389橋)	—	平成26・27年度の橋梁の点検は全8,389橋のうち2,340橋を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は154橋であった。補修が必要な橋梁については対策方法を検討し、計画的に補修を実施していく。
中日本 高速道路㈱	79橋 [0橋] (501橋/5,561橋)	—	232橋 [0橋] (1,600橋/5,561橋)	—	平成26・27年度の橋梁の点検は全5,561橋のうち1,600橋を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は232橋であった。補修が必要な橋梁については対策方法を検討し、計画的に補修を実施していく。
西日本 高速道路㈱	94橋 [0橋] (1,960橋/8,210橋)	—	256橋 [0橋] (3,932橋/8,210橋)	—	平成26・27年度の橋梁の点検は全8,210橋のうち3,932橋を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は256橋であった。補修が必要な橋梁については対策方法を検討し、計画的に補修を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	2橋 [0橋] (137橋/470橋)	—	2橋 [0橋] (229橋/470橋)	—	平成26・27年度の橋梁の点検は全470橋のうち229橋を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は2橋であった。補修が必要な橋梁についてはH27年度に補修を完了した。
首都 高速道路㈱	8橋 [0橋] (14橋/118橋)	277径間 [0径間] (2,985径間 /11,896径間)	13橋 [0橋] (25橋/118橋)	451径間 [0径間] (5,752径間 /11,896径間)	平成26・27年度の橋梁の点検は全118橋のうち25橋、径間単位では11,896径間のうち5,752径間を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は13橋、径間単位では451径間であった。補修が必要な橋梁については対策方法を検討し、計画的に補修を実施していく。
阪神 高速道路㈱	27橋 [0橋] (45橋/318橋)	72径間 [0径間] (2,460径間 /9,955径間)	37橋 [0橋] (167橋/318橋)	148径間 [0径間] (4,766径間 /9,955径間)	平成26・27年度の橋梁の点検は全318橋のうち167橋、径間単位では9,955径間のうち4,766径間を実施した。そのうち緊急を要する区分Ⅳの橋梁はなく、補修が必要な区分Ⅲの橋梁は37橋、径間単位では148径間であった。補修が必要な橋梁については対策方法を検討し、計画的に補修を実施していく。

※1 H26年7月より施行されたトンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示(平成26年国土交通省告示第426号)に基づき健全性が診断された橋梁のうち区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数。

※2 径間とは、高架橋及び橋等に係る支点(橋脚または橋台)間をいう。

※3 全対象橋数については、H26.12.31時点(ただし、H27年度末までに移管した橋梁は除く)の値。

指標	利用者視点			交通安全			
	ピンポイント渋滞 対策実施箇所数※1 (単位:箇所)	ETC2.0利用率 (単位:%)	企画割引実施件数・ 販売件数※2 (単位:件)	車限令違反車両取締		ガソリンスタンドの空白区間※3※4※5	
				措置命令数 (単位:件)	即時告発実施件数 (単位:件)	(単位:区間)	うち150km超 (単位:区間)
会社	27年度実績	H26.4の値	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績
東日本 高速道路㈱	0箇所 (2箇所) <0箇所>	1.5%	13件 (76千件)	1,805件	2件	42区間 (0区間)	11区間 (0区間)
中日本 高速道路㈱	5箇所 (5箇所) <2箇所>	1.7%	13件 (23千件)	2,023件	7件	10区間 (4区間)	5区間 (4区間)
西日本 高速道路㈱	0箇所 (0箇所) <0箇所>	1.0%	5件 (39千件)	1,199件	4件	29区間 (16区間)	4区間 (4区間)
本州四国連絡 高速道路㈱	0箇所 (0箇所) <0箇所>	1.1%	1件 (一)	79件	0件	12区間 (12区間)	-
首都 高速道路㈱	2箇所 (4箇所) <0箇所>	2.5%	0件 (0件)	371件	0件	-	-
阪神 高速道路㈱	0箇所 (1箇所) <0箇所>	1.5%	3件 (59千件)	582件	0件	-	-

指標	道路保全			地域との連携			その他	
	橋梁の点検率※6※7 (単位:%)	トンネルの点検率 ※6 (単位:%)	道路附属物等の 点検率※6 (単位:%)	ウェルカムゲート 設置数 (単位:箇所)	占用料収入 (単位:百万円)	入札占用の 実施件数 (単位:件)	インセンティブ助成	
							認定件数 (単位:件)	交付件数・交付額※8 (単位:件・百万円)
会社	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績	27年度実績
東日本 高速道路㈱	28% (一)	40%	57%	53箇所	327百万円	0件	8件	9件 (85百万円)
中日本 高速道路㈱	29% (一)	27%	37%	124箇所	240百万円	0件	14件	3件 (52百万円)
西日本 高速道路㈱	48% (一)	58%	50%	66箇所	257百万円	0件	11件	6件 (211百万円)
本州四国連絡 高速道路㈱	49% (一)	37%	51%	0箇所	79百万円	0件	0件	0件 (0百万円)
首都 高速道路㈱	21% (48%)	31%	40%	-	980百万円	0件	0件	0件 (0百万円)
阪神 高速道路㈱	53% (48%)	27%	78%	-	378百万円	0件	0件	0件 (0百万円)

※1 上段は新規着手箇所数、中段の()内は対策実施箇所数、下段の<>内は完了箇所数

※2 上段は実施件数、下段の()内は販売件数

※3 区間数は、方向(上下線別)にそれぞれ算出

※4 上段は空白区間数、下段の()内はうち会社を跨ぐ空白区間数

尚、中日本高速道路㈱と西日本高速道路㈱に跨る区間は100km超及び150km超で4箇所、西日本高速道路㈱と本四高速道路㈱に跨る区間は100km超で12箇所存在する

※5 ガソリンスタンドの空白区間が150km超の区間については、平成29年度までにゼロとすることを目標としている

※6 H26.12.31時点の各管理施設数(ただし、H27年度末までに移管した管理施設は除く)に対するH26から当該年度までの点検数の比率。

※7 上段は橋梁単位による点検率、下段の()内は径間単位による点検率

※8 上段の値は交付件数、下段の()内は交付額

道路資産保有及び貸付状況（総括表）

（平成28年3月31日時点）

（単位：キロメートル）

	合 計									
	東日本高速道路㈱	中日本高速道路㈱	西日本高速道路㈱	首都高速道路㈱	阪神高速道路㈱	京都市	本州四国連絡高速道路㈱			
保有及び貸付延長	10,159	3,863	2,037	3,492	321	263	10	173		
うち供用区間延長	10,061	3,840	2,029	3,449	311	249	10	173		
うち新設区間延長	(492) 98	(146) 23	(211) 8	(102) 43	(19) 11	(14) 14	-	-		
(内訳)										
全国路線網	9,531	3,863	2,031	3,464	-	-	-	173		
高速自動車国道	8,295	3,376	1,829	3,090	-	-	-	-		
高速自動車国道以外	1,236	487	202	374	-	-	-	173		
うち供用区間延長	9,457	3,840	2,023	3,421	-	-	-	173		
高速自動車国道	8,228	3,360	1,821	3,047	-	-	-	-		
高速自動車国道以外	1,229	480	202	374	-	-	-	173		
うち新設区間延長	(459) 74	(146) 23	(211) 8	(102) 43	-	-	-	-		
高速自動車国道	(320) 67	(83) 16	(135) 8	(102) 43	-	-	-	-		
高速自動車国道以外	(139) 7	(63) 7	(76) 0	(0) 0	-	-	-	-		
地域路線網	594	-	-	-	321	263	10	-		
うち供用区間延長	570	-	-	-	311	249	10	-		
うち新設区間延長	(33) 25	-	-	-	(19) 11	(14) 14	-	-		
一の路線	34	-	6	28	-	-	-	-		
うち供用区間延長	34	-	6	28	-	-	-	-		
うち新設区間延長	-	-	-	-	-	-	-	-		

（注）延長の数値は、I・C間を最小単位として、機構の保有資産が含まれている区間を全て合計したものの延長です。但し、「うち新設区間延長」の括弧内の数値は、既に機構が資産を保有している区間を含む、協定に基づき高速道路会社が新設を行う区間の総延長です。

（注）端数処理の関係上、計が合わない場合があります。